

理事会の当日、お忘れにならないようご持参願います。

令和8年度 第2回 理事会・支部長会

日 時 令和8年8月20日（木）午後2時00分

場 所 茨城県市町村会館 1階 講堂

次 第

1. 開 会

2. 会長あいさつ

3. 報告事項

①連合会・関プロの報告について . . . 資料1、資料2

②各委員会活動報告について . . . 資料3

4. 議題

①令和8年7月末決算について . . . 資料4

②会員増強運動の状況について(各自報告) . . . 資料5

③総会、納涼会の報告及び反省点について . . . 資料6

④全国大会「ぐんま大会」について . . . 資料7

⑤建築士会の主要な事業について . . . 資料8

⑥その他

5. その他

6. 閉 会

公益社団法人 日本建築士会連合会 令和8年度通常総会

日 時：令和8年6月16日（火）

（13：30～16：00）

場 所：建築会館1階「建築会館ホール」

東京都港区芝5-26-20

TEL：03(3456)2061

＝ 総 会 次 第 ＝

1. 開 会
2. 会 長 挨 拶
3. 出 席 者 報 告
4. 議 長 選 出
5. 議事録署名人選出
6. 議 事

第1号議案

令和7年度事業報告及び令和7年度決算承認の件

第2号議案

任期満了による役員改選の件

報告事項

令和8年度事業計画及び令和8年度予算報告の件

7. 閉 会

貸借対照表

(令和8年3月31日現在)

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	320,256,467	189,044,338	131,212,129
未収金	84,637,445	86,360,728	△ 1,723,283
立替金	276,360	495,788	△ 219,428
前払金	2,663,186	2,460,940	202,246
貯蔵品	12,691,984	10,663,913	2,028,071
流動資産合計	420,525,442	289,025,707	131,499,735
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
運営資金積立資産	24,186,819	24,146,801	40,018
退職給付引当資産	61,900,832	52,766,701	9,134,131
公益目的事業積立資産	60,016,446	60,016,446	0
会館建設積立資産	6,856,022	6,845,536	10,486
研修会等積立資産	45,691,510	45,615,912	75,598
登録事務運営準備金	20,952,622	40,846,146	△ 19,893,524
特定資産合計	219,604,251	230,237,542	△ 10,633,291
(2) その他固定資産			
什器備品	2,083,699	3,147,738	△ 1,064,039
建物付属設備	452,006	516,511	△ 64,505
ソフトウェア	8,474,739	6,964,901	1,509,838
リース資産	2,036,067	3,329,528	△ 1,293,461
敷金	16,230,695	16,230,695	0
その他固定資産合計	29,277,206	30,189,373	△ 912,167
固定資産合計	248,881,457	260,426,915	△ 11,545,458
資産合計	669,406,899	549,452,622	119,954,277
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	24,059,822	22,443,170	1,616,652
前受金	22,486,382	12,329,932	10,156,450
預り金	140,317,431	2,410,839	137,906,592
賞与引当金	6,398,181	6,162,957	235,224
リース債務	646,060	1,361,869	△ 715,809
流動負債合計	193,907,876	44,708,767	149,199,109
2. 固定負債			
退職給付引当金	61,900,832	52,766,701	9,134,131
リース債務	1,724,028	2,438,007	△ 713,979
固定負債合計	63,624,860	55,204,708	8,420,152
負債合計	257,532,736	99,913,475	157,619,261
III 正味財産の部			
一般正味財産	411,874,163	449,539,147	△ 37,664,984
(うち特定資産への充当額)	(157,703,419)	(177,470,841)	(△19,767,422)
正味財産合計	411,874,163	449,539,147	△ 37,664,984
負債及び正味財産合計	669,406,899	549,452,622	119,954,277

令和7年度会員数一覧表

士会名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	前年3月(参考)
北海道	3,437	3,451	3,483	3,416	3,427	3,429	3,437	3,428	3,427	3,302	3,264	3,276	3,431
青 森	917	863	855	847	837	834	831	835	836	834	834	831	935
岩 手	1,291	1,233	1,233	1,217	1,212	1,206	1,206	1,193	1,192	1,192	1,193	1,188	1,295
宮 城	679	656	652	651	649	651	651	651	650	650	650	651	687
秋 田	917	902	909	909	909	905	904	905	905	906	906	905	922
山 形	812	785	782	781	780	781	786	786	786	787	788	787	799
福 島	1,358	1,342	1,329	1,305	1,241	1,231	1,229	1,214	1,212	1,205	1,202	1,201	1,371
茨 城	1,647	1,630	1,622	1,618	1,613	1,613	1,610	1,611	1,607	1,609	1,607	1,606	1,669
栃 木	1,090	1,091	1,100	1,095	1,092	1,093	1,089	1,058	1,064	1,066	1,068	1,082	1,114
群 馬	1,125	1,101	1,100	1,094	1,091	1,087	1,089	1,081	1,081	1,078	1,074	1,069	1,134
埼 玉	1,200	1,190	1,187	1,190	1,180	1,184	1,185	1,186	1,186	1,186	1,182	1,182	1,202
千 葉	1,519	1,517	1,517	1,511	1,505	1,502	1,510	1,511	1,511	1,506	1,501	1,497	1,545
東 京	4,455	4,340	4,350	4,350	4,350	4,345	4,350	4,335	4,130	4,165	4,210	4,240	4,560
神奈川	2,009	1,952	1,950	1,949	1,955	1,957	1,960	1,966	1,966	1,966	1,961	1,961	2,013
山 梨	885	885	860	860	860	860	865	825	825	825	830	830	875
長 野	1,916	1,897	1,889	1,888	1,882	1,883	1,885	1,878	1,876	1,876	1,875	1,874	1,951
新 潟	1,580	1,500	1,493	1,451	1,443	1,439	1,435	1,435	1,433	1,431	1,428	1,429	1,609
静 岡	1,065	1,065	1,035	1,035	1,035	1,035	1,035	1,035	1,035	1,035	1,035	1,035	1,090
愛 知	3,050	3,020	3,020	3,030	3,030	3,000	3,000	3,000	2,980	2,980	2,980	2,980	3,100
岐 阜	883	878	878	868	873	873	868	868	868	868	863	858	903
三 重	679	677	678	671	671	674	674	677	677	677	676	673	686
富 山	1,070	1,045	1,041	1,031	1,026	1,026	1,026	1,026	1,031	1,026	1,026	1,026	1,090
石 川	1,122	1,115	1,113	1,109	1,108	1,110	1,109	1,105	1,104	1,104	1,103	1,103	1,063
福 井	807	802	800	796	796	796	795	794	793	792	790	789	834
滋 賀	668	667	662	660	652	650	647	645	641	640	638	636	677
京 都	1,119	1,116	1,117	1,116	1,118	1,118	1,102	1,097	1,098	1,099	1,100	1,101	1,142
大 阪	2,170	2,150	2,150	2,150	2,150	2,145	2,100	2,100	2,105	2,100	2,100	2,095	2,170
兵 庫	1,225	1,220	1,209	1,213	1,179	1,202	1,201	1,202	1,206	1,208	1,219	1,209	1,267
奈 良	647	635	636	636	639	639	629	631	631	633	635	635	686
和歌山	1,207	1,198	1,194	1,170	1,172	1,170	1,170	1,170	1,180	1,180	1,180	1,180	1,200
鳥 取	585	585	582	582	585	585	585	585	585	585	585	585	585
島 根	1,120	1,120	1,110	1,110	1,110	1,110	1,110	1,110	1,110	1,110	1,110	1,110	1,130
岡 山	1,159	1,158	1,134	1,138	1,139	1,139	1,135	1,142	1,142	1,138	1,137	1,137	1,178
広 島	1,575	1,590	1,590	1,585	1,585	1,585	1,585	1,585	1,570	1,570	1,570	1,570	1,575
山 口	1,521	1,511	1,516	1,511	1,511	1,511	1,503	1,503	1,493	1,503	1,495	1,500	1,526
徳 島	904	894	905	900	894	895	894	893	889	889	889	887	927
香 川	1,230	1,230	1,225	1,220	1,220	1,220	1,220	1,215	1,210	1,210	1,205	1,205	1,245
愛 媛	1,389	1,365	1,368	1,366	1,368	1,368	1,369	1,370	1,369	1,374	1,376	1,379	1,390
高 知	805	805	805	800	800	800	800	800	800	800	800	800	818
福 岡	2,000	1,980	1,980	1,980	1,980	1,970	1,970	1,965	1,965	1,965	1,955	1,955	2,010
佐 賀	860	873	876	873	872	870	867	868	871	869	865	863	869
長 崎	907	890	873	875	876	874	870	870	865	866	866	865	920
熊 本	1,200	1,195	1,195	1,190	1,190	1,185	1,185	1,185	1,185	1,180	1,175	1,170	1,210
大 分	1,039	1,031	1,035	1,039	1,038	1,031	1,029	1,028	1,024	1,023	1,023	1,022	1,040
宮 崎	872	861	869	872	872	872	871	871	869	869	867	868	892
鹿児島	1,673	1,660	1,652	1,638	1,630	1,624	1,620	1,623	1,625	1,627	1,626	1,626	1,673
沖 縄	835	830	829	828	828	829	829	827	827	835	825	828	846
合 計	62,223	61,501	61,388	61,124	60,973	60,906	60,820	60,688	60,435	60,339	60,287	60,299	62,854

令和7年度 事業報告

〈令和7年4月1日～令和8年3月31日〉

今年度は、一級建築士の登録・閲覧事務を担う「中央指定登録機関」として、47建築士会協力の下、改正建築士法に基づく登録事務等の遂行に万全を期すとともに、建築士の資質の維持・向上及び業務環境の改善を図り、以って公益法人として広く国民の福祉増進と自律的監督体制強化に一層寄与することを基本施策に掲げ、以下の重点施策のもと、諸事業を実施した。

〔重点施策〕

1. 改正建築士法に基づく建築士免許登録と閲覧事務の円滑な運用
2. 建築士の資質の維持・向上
3. 建築士の業務環境の改善
4. 改正建築物省エネ法及び改正建築基準法の円滑な施行への協力
5. 会員増強の推進
6. 地域に根差したまちづくり、建築物の脱炭素化、感染症対策等専門活動の推進（自治体との連携強化）
7. 継続能力開発（CPD）制度及び専攻建築士制度の社会的活用への推進
8. 建築物木材利用促進協定に基づく木造建築物設計・施工に係る人材育成等の推進
9. 国際化への対応
10. 広報・情報活動の積極的展開

今年度の事業の実施状況は、以下の通りである。

〔事業内容〕〈公益目的事業別〉

〈公益目的事業 -1 建築士の教育及び調査研究・普及宣伝事業〉

1. 建築士の資質の維持・向上に係る事業

(1) 建築設計・施工に係る技術研修の実施

ア 建築士定期講習の開催支援

47建築士会の協力の下に建築士法第22条の2による建築士定期講習を実施した。実施状況は以下の通り。

- ・受講者数6,729名（昨年度比1,042名減、3年度前比2,811名減）
- ・実施会場数191会場（昨年度比29会場減、3年度前比55会場減）

イ 監理技術者講習の実施

建設業法第26条に基づく監理技術者講習を、建築工事を主体とした講義内容で建築士会協力の下に実施した。

- ・実施建築士会数 33建築士会
- ・会場数 236会場（昨年度比2会場減）
- ・受講者数 1,252名（昨年度比129名減）

ウ 既存住宅状況調査技術者講習の実施

改正宅建業法に基づく建物の構造安全性等を調査する既存住宅状況調査技術者を育成するため、講義と修了考査による技術研修を47建築士会の協力の下に全国で実施した。実施状況は以下の通り。

- ・新規講習：受講者数386名（対面245名、会場数44会場、オンライン受講者数141名）

- ・更新講習：受講者数449名（対面142名、会場数43会場、オンライン受講者数307名）

エ「建築作品賞」、「木の建築賞」の実施

(ア) 建築作品賞

本年度の実施結果は、以下の通り。

- ・応募総数156点

カテゴリー別応募点数

- 1-1 居住・生活空間系の建物：58点
 - 1-2 教育・文化・福祉系の建物：30点
 - 1-3 商業・業務・交通系の建物：44点
- リノベーション 24点

上記のうち U40応募作品：37点

【審査経過】

- ・一次審査 3月26日
- ・審査期間 5月～6月
- ・現地審査 対象総数19点
- ・最終審査日 6月27日

【審査結果】

大賞1点作品名「茨木市文化・子育て複合施設 おにクル」／國本 暁彦（奈良県建築士会）

上記のほか、優秀賞4点（大賞1点含む）、奨励賞5点、U40賞2点を選出した。

なお、大賞、優秀賞、U40賞については、9月19日の全国大会の式典で表彰式を行った。

(イ) 木の建築賞（木の建築フォーラムとの共催）

関東甲信越ブロックを対象に実施した。

【審査日程】

- ・9月 4日：一次選考（書類選考）
- ・11月1日：二次選考（木の建築賞発表会・統括討論会）
- ・11月下旬～12月下旬：三次選考（現地審査・見学会）
- ・1月19日：最終選考会

【審査結果】

◆木の建築大賞・メンバーズチョイス賞

飯能商工会議所／石黒健太（有限会社野沢正光建築工房）

◆選考委員特別賞

AQ Group 本社屋／石黒健太（有限会社野沢正光建築工房）

◆選考委員特別賞

武蔵五日市駅前拠点施設「フレア五日市」／小口亮（アルセッド建築研究所）

◆木の活動賞

岩月家住宅（弥月荘）～近代和風建築の修理・整備と活用～／清水徹（アトリエ縁）

◆木の再生賞

休昌院『令和の大改修』／下川太郎（合同会社あまね設計）

◆木の教育賞

大学サテライトとしての茅葺民家の再生と地域における実践活動

／山本幸子（筑波大学建築・地域計画研究室）

◆ムクファースト崇秀記念賞（協賛：株式会社山

がなく実施しなかった。

(3) 大学院における実務経験の確認、審査

大学院の課程において開講予定の科目が、建築士法に規定する建築に関する実務経験に該当するかどうかを、大学院実務審査委員会を設置し、確認・審査するものである。

今年度は、6月の委員会にて、大学院課程の新規・変更申請に係る審査を行うとともに、文部科学省の大学設置基準の改訂に基づき、大学院の実務経験に関する審査基準の改訂を行った上で6月5日と2月2日に委員会を実施した。

(4) 建築士登録機関等連絡協議会

令和2年に協議会会員間で建築士の登録事務に関する連絡調整を行うこと等により、建築士の登録事務を円滑に推進することを目的として設立され、以降毎年活動している。

○ブロック別意見交換会

7月に、各ブロック単位（7ブロック）で意見交換会（対面又はオンライン形式）を実施した。

・一級建築士審査マニュアルの説明（連合会）等

2. 建築士名簿の適正な管理

本年度も建築士の登録、名簿の閲覧事務について、適正に業務を遂行した。

3. 登録・閲覧状況

今年度末時点の登録・閲覧状況は、以下の通り。

- ・新規3,020名、再交付300名、登録事項変更520名、再交付＋登録事項変更13名
- ・携帯型への変更299名、書換え25名、カード型免許証明書4,177枚（累計115,156枚）
- ・登録証明書（免状型）143枚

〈閲覧状況〉

- ・閲覧者：47士会22名、本会登録部12名
- ・閲覧対象者：47士会42名、本会登録部18名

〈内容証明〉

- ・登録証明書（本会登録部のみ）132名
- ・資格確認代行（本会登録部のみ）46名

〈各建築士会から受注している二級・木造建築士免許カードの作成〉

- ・44都道府県建築士会から携帯型免許証明書の作成依頼数は計5,888枚

〔公益目的事業 -3全国大会事業〕

1. 第67回建築士会全国大会（おおさか大会）

- ① 開催日 令和7年9月19日（金）
- ② 会場 グランキューブ大阪（大阪国際会議場）
- ③ 参加登録者数約3,040名
大会式典のほか、記念講演、青年・女性・まちづくり委員会、環境部会等による各セッションを実施した。

2. 伝統技能者への表彰

建築士会の会員、非会員を問わず、神社仏閣の修復・保全を始め、和の住まいとしての畳や襖、左官など日本古

来の木造伝統建築に携わる技能者や、これらの技術を絶やさず後世に伝えるために後継者育成に努めている伝統技能者に対し、全国大会式典において表彰状を授与しその功績を讃えた。

・表彰者数 25名

〔公益目的事業 -4建築士による地域貢献活動等への助成事業〕

以下の活動支援、助成を行った。

1. 災害予防対応の実施

(1) 応急危険度判定の広域支援体制の確立の検討

応急危険度判定協議会（事務局：一般財団法人日本建築防災協会）に参加し、支援体制の構築に向けて検討を進めている。

(2) 災害時における歴史的建造物の被災確認調査への支援・協力

国立文化財防災センター、日本建築学会、土木学会、日本建築家協会とともに「災害時における歴史的建造物の被災確認調査および技術支援等に関する協力協定」を令和4年3月11日に締結し、平常時において歴史的建造物の防災手法に関する情報共有を促進し、協力体制の構築を図っている。

(3) 「浸水被害住宅の技術対策マニュアル」の普及

行政職員や建築士も含めた技術ボランティアが被災住宅等の復旧に取り組む際の実用的なマニュアル「浸水被害住宅の技術対策マニュアル」（編集：災害対策委員会）をテキストとした講習会を4士会にて実施した。講師は災害対策委員が担当した。

・講習会の開催状況

- ① 実施期間：令和7年4月1日～令和8年3月31日
- ② 実施士会：熊本土会、静岡士会、岐阜士会、福井士会
- ③ 講義科目：
 - ・連合会災害対策の取組
 - ・マニュアルの重要ポイントと活用方法（第1章）
 - ・被災地から学ぶ応急技術対策（第2章）
 - ・被災者への相談窓口と復旧施工体制（第3、4章）
 - ・意見交換

(4) 建築士会における災害対策に関する委員会等の設置の推進

2. 建築士による地域に根差した専門活動の推進

(1) 防災・歴史・景観・福祉・空き家（街なか）及び木のまちづくり活動とネットワーク化の推進

全国大会において以下の各部会は以下のテーマによりセッションを実施した。

ア 防災まちづくり部会活動

テーマ：多様化する自然災害と南海トラフ巨大地震への備え～防災教育のすすめ～

イ 街中（空き家）まちづくり部会活動

テーマ：ソーシャルデザインにおける空き家利活用

ウ 福祉まちづくり部会活動

テーマ：ユニバーサルなまちづくりを目指して～大阪・関西万博におけるユニバーサルデザイン

(3) - ③ 令和7年度 既存住宅状況調査技術者講習

単位：名

士会名	新規講習			更新講習			合計
	対面	オンライン	計	対面	オンライン	計	
北海道	1	3	4	5	16	21	25
青森		3	3		0	0	3
岩手	1	2	3	0	1	1	4
宮城		2	2		2	2	4
秋田		2	2		2	2	4
山形		0	0	0	1	1	1
福島	5	3	8	0	2	2	10
茨城		3	3		7	7	10
栃木		0	0		5	5	5
群馬	1	1	2	0	2	2	4
埼玉		2	2	2	10	12	14
千葉	4	4	8	0	13	13	21
東京		9	9		44	44	53
神奈川	18	12	30	10	19	29	59
山梨		2	2		5	5	7
長野	13	5	18	1	6	7	25
新潟		5	5		1	1	6
静岡		4	4		12	12	16
愛知	6	8	14	4	19	23	37
岐阜	8	4	12	2	3	5	17
三重		5	5		3	3	8
富山		3	3		4	4	7
石川	3	4	7	1	4	5	12
福井	5	0	5	8	4	12	17
滋賀	7	3	10	7	5	12	22
京都	7	2	9	6	5	11	20
大阪	23	11	34	19	14	33	67
兵庫	3	6	9	4	12	16	25
奈良		1	1		6	6	7
和歌山		1	1		4	4	5
鳥取		2	2		1	1	3
島根	2	3	5	2	2	4	9
岡山	3	2	5	3	5	8	13
広島	23	4	27	8	7	15	42
山口	9	2	11	4	3	7	18
徳島	7	0	7	3	6	9	16
香川	9	0	9	2	6	8	17
愛媛	9	2	11	4	4	8	19
高知	6	0	6	2	4	6	12
福岡	7	5	12	6	17	23	35
佐賀	4	1	5	3	4	7	12
長崎	2	1	3	2	0	2	5
熊本	5	4	9	3	2	5	14
大分	4	2	6	3	6	9	15
宮崎		2	2	3	2	5	7
鹿児島		0	0		4	4	4
沖縄		1	1		3	3	4
連合会	50		50	25		25	75
合計	245	141	386	142	307	449	835

(7)－③ 令和7年度 専攻建築士申請 / 認定・登録者総数一覧

	更新予定者	新規①		更新②		経歴③		合計		登録中人数④	専攻建築士登録者数①+②+④ (経歴証含まず)
	令和7年度	人数	領域数	人数	領域数	人数	領域数	申込人数	申込領域		
01北海道	25	1	1	16	18			17	19	59	76
02青森県	8			1	1			1	1	12	13
03岩手県	1									5	5
04宮城県	2									17	17
05秋田県	2			2	2			2	2	2	4
06山形県										7	7
07福島県	1			1	1			1	1	4	5
08茨城県										4	4
09栃木県	2			1	2			1	2	8	9
10群馬県										4	4
11埼玉県		1	1					1	1	5	6
12千葉県										34	34
13東京都	74			39	51			39	51	202	241
14神奈川県	37	1	1	21	27			21	27	71	93
15山梨県	57	1	1	48	58			49	59	28	77
16長野県	5			3	5			3	5	83	86
17新潟県	43			25	33			25	33	92	117
18静岡県	4	1	1	2	2			3	3	21	24
19愛知県	16	6	7	12	13			18	20	100	118
20岐阜県	21			10	11			10	11	16	26
21三重県	9			5	9			5	9	7	12
22富山県	10			2	2			2	2	19	21
23石川県	17	1	2	8	11	1	1	10	14	40	49
24福井県	15			6	7			6	7	29	35
25滋賀県	3			3	4			3	4	1	4
26京都府	3	1	1	2	3			3	4	29	32
27大阪府	28	1	1	11	13			12	14	67	79
28兵庫県	8	1	1	4	6			5	7	42	47
29奈良県	20	1	1	13	16			14	17	27	41
30和歌山県										29	29
31鳥取県	3			3	4			3	4	1	4
32島根県	1	1	1	1	2			2	3	60	62
33岡山県	13			8	9			8	9	52	60
34広島県	35	1	1	22	27			23	28	59	82
35山口県										17	17
36徳島県	2			1	1			1	1	1	2
37香川県	4			4	6			4	6	34	38
38愛媛県	4			4	5			4	5	5	9
39高知県		3	3					3	3	65	68
40福岡県	81	2	3	48	61			50	64	78	128
41佐賀県	13			9	11			9	11	19	28
42長崎県										27	27
43熊本県	3			1	1			1	1	2	3
44大分県	6			5	7			5	7	15	20
45宮崎県	5			4	5			4	5	16	20
46鹿児島県	35	1	1	24	30			25	31	70	95
47沖縄県	4			3	4			3	4	7	10
	620	24	26	372	468	1	1	396	495	1,592	1,988

Ⅱ－４ ２. 一級建築士、構造・設備設計一級建築士 登録状況 一級建築士 懲戒処分件数

一級建築士、構造・設備設計一級建築士 登録状況

◆令和7年度（2026/3/31現在）

県 No.	都道府県名	一級建築士	構造設計 一級建築士	設備設計 一級建築士
01	北海道	12,982	205	144
02	青森県	1,952	48	21
03	岩手県	2,087	32	11
04	宮城県	6,264	156	117
05	秋田県	1,688	25	12
06	山形県	2,083	51	20
07	福島県	3,143	59	24
08	茨城県	5,104	134	75
09	栃木県	3,389	75	62
10	群馬県	4,427	98	56
11	埼玉県	20,848	780	438
12	千葉県	18,922	777	379
13	東京都	78,256	2,206	1,318
14	神奈川県	32,080	1,050	715
15	新潟県	5,480	127	59
16	富山県	2,861	63	40
17	石川県	3,626	103	65
18	福井県	2,457	50	26
19	山梨県	1,687	37	22
20	長野県	5,085	98	65
21	岐阜県	4,835	95	80
22	静岡県	8,524	203	113
23	愛知県	22,251	645	473
24	三重県	3,659	79	57
25	滋賀県	3,293	68	56
26	京都府	7,915	159	95
27	大阪府	33,496	875	553
28	兵庫県	17,443	524	273
29	奈良県	4,061	153	97
30	和歌山県	1,852	29	18
31	鳥取県	1,318	32	15
32	島根県	1,899	36	13
33	岡山県	4,115	76	46
34	広島県	10,068	263	175
35	山口県	3,565	46	18
36	徳島県	1,832	24	14
37	香川県	2,997	52	40
38	愛媛県	2,989	55	43
39	高知県	1,534	23	6
40	福岡県	14,944	395	252
41	佐賀県	1,657	26	13
42	長崎県	2,471	50	14
43	熊本県	3,657	90	40
44	大分県	2,811	57	29
45	宮崎県	2,406	23	11
46	鹿児島県	3,281	50	32
47	沖縄県	2,481	68	56
	その他	723	2	56
	計	386,498	10,368	6,298

※3 返納届が提出されず一級建築士の死亡届が提出された場合、返納処理件数と実際の登録数に誤差が生じる。

一級建築士 懲戒処分件数

中央建築士審査会で処分決定後、建築士データベースに必要情報を登録した。（建築士法10条第1項）

	取消	業務停止	戒告
平成21年度※1	6	30	2
平成22年度	4	10	0
平成23年度	2	28	0
平成24年度※2	2	64	0
平成25年度	3	35	33
平成26年度	0	7	35
平成27年度	0	12	5
平成28年度	2	7	10
平成29年度	5	12	0
平成30年度	0	10	1
令和元年度	3	5	15
令和2年度	4	3	1
令和3年度	0	4	0
令和4年度	0	8	13
令和5年度	0	4	44
令和6年度	0	2	57
計	31	241	216

※1 平成21年度取消6名の内、2名については、それぞれ構造設計一級建築士、設備設計一級建築士取得者である。

また、上記構造設計一級建築士取得者については、平成23年7月15日付で処分が取消されている。

※2 平成24年度業務停止64名の内、1名については処分が取消（平成25年3月27日）されている。

令和7年度

	取消	業務停止	戒告
令和7年度	0	3	9
計	0	3	9

(1)－⑤ 建築士賠償責任補償制度・工事総合補償制度・勤務建築士・既存賠償加入状況

令和8年3月31日現在

建築士賠償責任補償制度

士会名	0型	I型	II型	III型	IV型	合計	法令 未達	構造 未達
北海道	1	39	52	11	17	120	68	46
青 森	0	9	16	6	11	42	23	13
岩 手	0	8	13	4	6	31	15	16
宮 城	0	20	27	9	14	70	41	31
秋 田	0	8	14	4	4	30	15	11
山 形	1	6	15	0	3	25	10	8
福 島	1	29	55	16	17	118	53	36
小 計	3	119	192	50	72	436	225	161
茨 城	4	53	70	6	17	150	75	47
栃 木	2	38	53	10	11	114	40	30
群 馬	3	12	36	10	15	76	31	27
埼 玉	2	61	99	16	35	213	123	92
千 葉	5	43	52	9	21	130	60	43
東 京	27	473	624	153	309	1,586	882	429
神奈川	5	108	170	20	79	382	216	123
山 梨	1	14	44	3	10	72	39	25
長 野	5	20	58	7	24	114	65	46
新 潟	3	24	49	9	18	103	55	35
小 計	57	846	1,255	243	539	2,940	1,586	897
静 岡	2	52	106	16	30	206	89	58
愛 知	5	115	211	31	80	442	219	139
岐 阜	0	35	74	12	22	143	77	58
三 重	1	13	42	8	11	75	42	24
富 山	1	18	20	2	4	45	19	9
石 川	1	12	24	5	9	51	23	13
福 井	0	12	19	4	12	47	22	12
小 計	10	257	496	78	168	1,009	491	313
滋 賀	1	12	18	8	11	50	30	22
京 都	5	55	96	11	32	199	112	65
大 阪	5	118	216	42	87	468	244	151
兵 庫	3	57	78	18	29	185	84	52
奈 良	2	15	23	6	10	56	24	15
和歌山	0	12	52	9	9	82	34	18
小 計	16	269	483	94	178	1,040	528	323
鳥 取	0	5	5	1	3	14	8	4
島 根	3	13	21	3	6	46	18	10
岡 山	1	13	21	4	4	43	18	11
広 島	1	17	41	10	20	89	53	37
山 口	0	14	23	4	11	52	31	20
徳 島	0	4	17	3	8	32	6	5
香 川	2	10	26	7	12	57	31	18
高 知	0	13	28	7	9	57	21	14
愛 媛	1	17	27	6	11	62	31	19
小 計	8	106	209	45	84	452	217	138
福 岡	5	67	120	26	54	272	160	87
佐 賀	0	3	16	3	6	28	12	10
長 崎	0	5	7	2	3	17	9	7
熊 本	3	26	55	10	12	106	48	33
大 分	1	11	26	5	14	57	27	22
宮 崎	2	8	23	4	13	50	27	14
鹿児島	2	14	20	4	6	46	30	17
沖 縄	2	30	55	12	23	122	75	62
小 計	15	164	322	66	131	698	388	252
合 計	109	1,761	2,957	576	1,172	6,575	3,435	2,084

工事総合補償制度

士会名	タイプ I	タイプ II	タイプ III	合 計
北海道	2	0	0	2
青 森	0	0	0	0
岩 手	0	0	0	0
宮 城	1	0	0	1
秋 田	2	0	0	2
山 形	0	0	0	0
福 島	3	0	0	3
小 計	8	0	0	8
茨 城	12	2	0	14
栃 木	3	0	1	4
群 馬	4	0	0	4
埼 玉	3	0	0	3
千 葉	3	0	0	3
東 京	11	2	1	14
神奈川	6	1	0	7
山 梨	3	0	0	3
長 野	5	1	0	6
新 潟	4	0	0	4
小 計	54	6	2	62
静 岡	2	0	0	2
愛 知	8	0	0	8
岐 阜	6	0	0	6
三 重	1	0	0	1
富 山	2	0	0	2
石 川	1	0	0	1
福 井	1	0	0	1
小 計	21	0	0	21
滋 賀	2	0	0	2
京 都	2	0	0	2
大 阪	9	0	1	10
兵 庫	3	0	0	3
奈 良	2	1	0	3
和歌山	2	0	0	2
小 計	20	1	1	22
鳥 取	1	0	0	1
島 根	0	0	0	0
岡 山	1	0	0	1
広 島	1	0	0	1
山 口	3	0	0	3
徳 島	0	0	0	0
香 川	4	0	0	4
高 知	1	0	0	1
愛 媛	5	0	0	5
小 計	16	0	0	16
福 岡	7	1	0	8
佐 賀	0	0	0	0
長 崎	0	0	0	0
熊 本	1	0	0	1
大 分	0	0	0	0
宮 崎	0	0	0	0
鹿児島	2	0	0	2
沖 縄	1	0	0	1
小 計	11	1	0	12
合 計	130	8	3	141

勤務建築士

士会名	加入 者数
北海道	11
青 森	0
岩 手	0
宮 城	3
秋 田	1
山 形	1
福 島	3
小 計	19
茨 城	20
栃 木	2
群 馬	0
埼 玉	3
千 葉	2
東 京	9
神奈川	5
山 梨	0
長 野	5
新 潟	1
小 計	47
静 岡	2
愛 知	5
岐 阜	5
三 重	2
富 山	4
石 川	0
福 井	1
小 計	19
滋 賀	0
京 都	4
大 阪	9
兵 庫	0
奈 良	1
和歌山	1
小 計	15
鳥 取	0
島 根	1
岡 山	5
広 島	2
山 口	0
徳 島	1
香 川	0
高 知	2
愛 媛	2
小 計	13
福 岡	6
佐 賀	0
長 崎	1
熊 本	2
大 分	0
宮 崎	0
鹿児島	1
沖 縄	4
小 計	14
合 計	127

既存賠償

士会名	加入 者数
北海道	3
青 森	0
岩 手	0
宮 城	1
秋 田	0
山 形	1
福 島	4
小 計	9
茨 城	4
栃 木	1
群 馬	0
埼 玉	3
千 葉	3
東 京	1
神奈川	5
山 梨	0
長 野	5
新 潟	1
小 計	23
静 岡	4
愛 知	2
岐 阜	2
三 重	0
富 山	0
石 川	1
福 井	0
小 計	9
滋 賀	0
京 都	2
大 阪	8
兵 庫	1
奈 良	1
和歌山	1
小 計	13
鳥 取	1
島 根	3
岡 山	0
広 島	3
山 口	1
徳 島	1
香 川	0
高 知	0
愛 媛	0
小 計	9
福 岡	4
佐 賀	1
長 崎	3
熊 本	4
大 分	0
宮 崎	2
鹿児島	1
沖 縄	0
小 計	15
合 計	78

公益社団法人 日本建築士会連合会 令和8・9年度役員一覧（案）

役 職	氏 名	都道府県
会長候補者	古 谷 誠 章	東 京
副会長候補者	角 田 直 樹	岩 手
	森 田 康 夫	東 京
	田 中 隆 司	新 潟
	石 井 隆 司	愛 知
	石 黒 時 紀	岐 阜
	上 田 茂 久	大 阪
	松 山 久	鳥 取
	小 島 啓	佐 賀
専務理事候補者	小野田 吉 純	連合会
常務理事候補者	日 高 顕 一	連合会
理事候補者	高 野 壽 世	北海道
	本 間 恵 美	北海道
	風 晴 智 順	青 森
	大 沼 正 寛	宮 城
	石 山 徳 昭	山 形
	高 橋 康 夫	群 馬
	稲 山 正 弘	東 京
	浦 江 真 人	東 京
	駕 海 浩 康	東 京
	柿 本 章 子	東 京
	木 村 駿	東 京
	後 藤 治	東 京
	佐々木 龍 郎	東 京
	長谷見 雄 二	東 京
	長 田 正 彦	山 梨
	江 口 信 行	長 野
	松 下 好 宏	静 岡
	杉 浦 泰 輔	愛 知
	櫻 木 耕 史	岐 阜
	徳 田 義 弘	富 山
	高 田 光 雄	京 都
	正 木 恵 子	兵 庫
	坪 倉 菜 水	島 根
	加 藤 史 隆	広 島
	藤 岡 旭	香 川
	中 野 善 弘	長 崎
	本 間 里 見	熊 本
	井 上 正 文	大 分
	松 崎 和 夫	大 分
監事候補者	田 中 慎 一	東 京
	塩 飽 繁 樹	岡 山

令和8年度基本計画

今年度は、一級建築士の登録・閲覧事務を担う「中央指定登録機関」として、47 建築士会協力の下、建築士法に基づく登録事務等の遂行に万全を期すとともに、建築士の資質の維持・向上及び業務環境の改善を図り、以って公益法人として広く国民の福祉増進と自律的監督体制強化に一層寄与することを基本施策に掲げ、以下の重点施策のもと、諸事業を実施するものとする。

〔重点施策〕

1. 建築士法に基づく建築士免許登録と閲覧事務の円滑な運用
2. 建築士の資質の維持・向上
3. 建築士の業務環境の改善
4. 改正建築物省エネ法及び改正建築基準法の円滑な施行への協力
5. 会員増強の推進
6. 地域に根差したまちづくり、建築物の脱炭素化等専門活動の推進（自治体との連携強化）
7. 継続能力開発（CPD）制度及び専攻建築士制度の社会的活用の推進
8. 建築物木材利用促進協定に基づく木造建築物設計・施工に係る人材育成等の推進
9. 国際化への対応
10. 広報・情報活動の積極的展開

令和8年度事業計画

〔事業内容〕＜公益目的事業別＞

＜公益目的事業-1 建築士の教育及び調査研究・普及宣伝事業＞

1. 建築士の資質の維持・向上に係る事業
 - (1) 建築設計・施工に係る技術研修の実施
 - 1) 建築士定期講習の開催支援
 - 2) 監理技術者講習の実施
 - 3) 既存住宅状況調査技術者講習の実施
 - 4) 「建築作品賞」・「木の建築賞」の実施
 - 5) 建築関係図書の発行
 - 6) 様々な課題に対応できる建築士の養成
応急危険度判定講習会の実施、ヘリテージマネージャーの育成、住宅紛争処理支援セミナーの実施による建築相談に対応可能な建築士の育成、BIMマネージャー・コーディネーターの育成、障害当事者を交えた建築プロジェクトにおける当事者参画プラットフォーム構想（TOJISYA-UD）への参画等
 - 7) 木造建築物の設計・施工に係る人材育成等の推進
中大規模木造設計セミナー、3階建木造建築物設計セミナーの実施等
 - (2) 設計、ゼネコン、工務店、サブコン、伝統技能者との連携・協力
 - (3) 継続能力開発（CPD）・専攻建築士制度の普及・推進
 - 1) CPD の行政機関での積極的活用へ向けた働きかけ
 - 2) 専攻建築士登録更新の推進
 - 3) JAPAN ARCHITECT（仮称）登録制度の検討
 - (4) 建築士を目指す人への支援
 - 1) 高校生を対象とした、コンペ「建築甲子園」の実施
 - 2) 建築士免許申請ガイドブックの改訂
 - (5) （公財）建築技術教育普及センターへの協力
2. 建築士及び建築士会会員の指導、連絡に係わる事業
 - (1) 建築士関連制度等に係る事業
 - 1) 建築士法等への対応
「建築士法の解説」改訂版編集の対応
 - (2) 建築士の業務環境の改善
 - 1) 改正民法に対応した設計・工事監理及び工事請負契約約款等の普及
 - 2) 公共建築設計懇談会への参画・協力
 - (3) 改正建築物省エネ法、改正建築基準法等への対応
 - (4) 国際間の諸問題の検討及び情報交流の推進
 - 1) 日・韓・中建築士資格者団体による協議会開催
 - 2) APECエンジニア・アーキテクトへの対応
 - (5) 建築士会会員の指導、連絡、組織の強化
 - 1) 会誌「建築士」の発行及び建築技術等情報の発信
現状の紙ベースの会誌を奇数月の隔月化、及び偶数月のWEB配信による情報提供内容の検討
 - 2) BIMマネージャー・コーディネーター育成のためのセミナー実施
 - 3) WEBを利用した図書購入等システムの運用
 - 4) 建築士の日（7月1日）事業の推進・支援
 - (6) 建築に関する調査研究・普及宣伝
 - 1) 令和8年度近現代建造物緊急重点調査
 - 2) 令和8年度熊本地震文化財建造物復旧支援事業現地調査及び所有者支援、並びに調査報告書作成業務

3. 地域実践活動の戦略的展開

- (1) 建築等を通じた良好な景観形成・まちづくりの推進
- (2) 建築相談体制の整備・拡充・支援
- (3) 青年建築士・女性建築士・まちづくり活動への支援・推進

＜公益目的事業-2 一級建築士登録等事業＞

1. 建築士法に基づく建築士免許登録体制整備の円滑運用
 - (1) 建築士免許登録に係る建築士会との連携
 - (2) 建築士免許登録要件となる実務経験の審査
 - (3) 大学院における実務経験の確認、審査
 - (4) 建築士登録機関等連絡協議会との連携
2. 一級建築士名簿の適正な管理
3. 適切な登録・閲覧体制の実施

＜公益目的事業-3 全国大会事業＞

1. 第68回建築士会全国大会（ぐんま大会）の開催
 - (1) 建築士による地域に根差した日頃の活動成果の発表
 - (2) 伝統的技能者表彰

＜公益目的事業-4 建築士による地域貢献活動等への助成事業＞

1. 建築士会等の災害対応活動への支援・協力
 - (1) 応急危険度判定の広域支援体制の確立の検討
 - (2) 災害時における歴史的建造物の被災確認調査への支援・協力
 - (3) 「浸水被害住宅の技術対策マニュアル」（改訂版）等の普及
 - (4) 建築士会における災害対策に関する委員会等の設置の推進
2. 建築士による地域に根差した専門活動の推進
 - (1) 歴史と文化を踏まえたまちづくり活動の推進
 - (2) 建築相談・住宅紛争処理支援関連活動とネットワーク化の推進
3. 各建築士会の自治体との連携・強化に対する支援
・建築物木材利用促進協定の推進

＜その他事業 相互扶助等事業＞

- (1) ブロック会への助成
- (2) 47建築士会との連携による会員増強運動及び財政健全化の推進
 - 1) 財政健全化検討TFの提言に基づく運動の展開
新入会員によるアイデアの具体化、二級建築士・女性建築士や施工管理技士への働きかけ、財政状況が比較的良好な建築士会をモデルとした取組等
 - 2) 建築士試験合格者の入会促進
 - 3) U40建築士賞への協力
 - (3) 「けんばい」等保険制度の加入促進
 - (4) 全国大会における会員表彰
 - (5) 応急危険度判定協議会との連携・協力
 - (6) 住宅リフォーム・紛争処理支援センターへの協力
 - (7) 建築行政への協力
・「防災週間」、「まちづくり月間」、「違反建築防止」、「BIM推進会議」等への協力

令和8年度正味財産増減予算書

(令和8年4月1日～令和9年3月31日)

(単位:円)

科 目	令和8年度予算	令和7年度予算	増減	備考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
特定資産運用益	278,000	20,000	258,000	
公益目的事業積立資産運用益	18,000	9,000	9,000	
その他特定資産運用益	260,000	11,000	249,000	
受取会費	208,500,000	217,700,000	△ 9,200,000	
正会員受取会費	204,300,000	213,600,000	△ 9,300,000	前年予算より2800名減(60900名→58100名)
賛助会員受取会費	4,200,000	4,100,000	100,000	
事業収益	273,530,000	250,680,000	22,850,000	
講習会関連収益	98,030,000	89,000,000	9,030,000	既存講習増(870名→1400名)等
C P D 関連収益	11,270,000	10,500,000	770,000	
専攻建築士制度収益	640,000	1,100,000	△ 460,000	
免許登録事業収益	115,670,000	102,880,000	12,790,000	一級登録者数増(2800名→3300名)
刊行物等販売収益	11,890,000	8,700,000	3,190,000	契約書類の販売増
受託収益	0	0	0	
広告収益	12,450,000	13,800,000	△ 1,350,000	会報誌の広告減
保険収益	23,580,000	24,700,000	△ 1,120,000	実態に合わせ調整
受取補助金等	0	0	0	
受取寄付金	0	0	0	
雑収益	952,000	2,511,000	△ 1,559,000	実態に合わせ調整
受取利息	5,000	4,000	1,000	
雑収益	947,000	2,507,000	△ 1,560,000	
経常収益計	483,260,000	470,911,000	12,349,000	
(2) 経常費用				
事業費				
役員報酬	17,600,000	17,600,000	0	
給料手当	66,970,000	62,300,000	4,670,000	実態に合わせ調整
臨時雇賃金	15,780,000	14,300,000	1,480,000	実態に合わせ調整
退職給付費用	6,530,000	5,200,000	1,330,000	実態に合わせ調整
福利厚生費	17,340,000	16,500,000	840,000	
会議費	25,770,000	22,835,000	2,935,000	新設部会等あり
旅費交通費	9,280,000	10,830,000	△ 1,550,000	実態に合わせ調整
通信運搬費	17,660,000	18,900,000	△ 1,240,000	実態に合わせ調整
減価償却費	2,010,000	4,700,000	△ 2,690,000	実態に合わせ調整
消耗什器備品費	800,000	1,000,000	△ 200,000	
消耗品費	8,580,000	13,600,000	△ 5,020,000	表彰者記念品の取りやめ等
印刷製本費	51,730,000	59,520,000	△ 7,790,000	会誌「建築士」印刷費減少
賃借料	16,100,000	16,500,000	△ 400,000	
諸謝金	18,390,000	17,650,000	740,000	
租税公課	24,000,000	23,000,000	1,000,000	実態に合わせ調整
支払負担金	12,050,000	11,550,000	500,000	
支払助成金	33,910,000	33,910,000	0	
委託費	111,100,000	114,980,000	△ 3,880,000	定期講習受講者減による
広告宣伝費	200,000	200,000	0	
図書購入費	8,800,000	6,050,000	2,750,000	契約書販売増による
支払手数料	6,600,000	5,700,000	900,000	
雑費	1,250,000	1,701,000	△ 451,000	
事業費計	472,450,000	478,526,000	△ 6,076,000	
管理費				
役員報酬	4,400,000	4,400,000	0	
給料手当	11,270,000	12,300,000	△ 1,030,000	実態に合わせ調整
臨時雇賃金	4,400,000	4,000,000	400,000	
退職給付費用	1,430,000	1,300,000	130,000	
福利厚生費	4,140,000	3,100,000	1,040,000	実態に合わせ調整
会議費	10,880,000	10,000,000	880,000	
旅費交通費	630,000	800,000	△ 170,000	
通信運搬費	1,700,000	1,600,000	100,000	
減価償却費	200,000	500,000	△ 300,000	
消耗什器備品費	200,000	200,000	0	
消耗品費	1,070,000	1,900,000	△ 830,000	
印刷製本費	1,600,000	900,000	700,000	
賃借料	9,110,000	8,730,000	380,000	
支払報酬	3,300,000	3,000,000	300,000	
租税公課	100,000	100,000	0	
支払負担金	2,700,000	2,400,000	300,000	
委託費	400,000	400,000	0	
雑費	100,000	100,000	0	
交際費	300,000	300,000	0	
雑費	1,050,000	510,000	540,000	
管理費計	58,980,000	56,540,000	2,440,000	
経常費用計	531,430,000	535,066,000	△ 3,636,000	
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 48,170,000	△ 64,155,000	15,985,000	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	△ 48,170,000	△ 64,155,000	15,985,000	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 48,170,000	△ 64,155,000	15,985,000	
他会計振替額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△ 48,170,000	△ 64,155,000	15,985,000	※補助事業により見込んでいた約1500万円の収支差額は計上外
一般正味財産期首残高	402,230,000	508,530,000	△ 106,300,000	
一般正味財産期末残高	354,060,000	444,375,000	△ 90,315,000	
II 正味財産期末残高	354,060,000	444,375,000	△ 90,315,000	

関ブロ令和8年度第2回会長会議 議事案

日 時 令和8年6月16日(火) 11:00～13:00

会 場 建築会館 308会議室

出席者 長野＝ 江口 信行(会長) 新潟＝ 田中 隆司
 千葉＝ 久富 清敏 東京＝ 佐々木 龍郎、
 群馬＝ 高橋 康夫 山梨＝ 長田 正彦
 神奈川＝ 上原 伸一 栃木＝ 田村 哲男
 埼玉＝ 丸岡 庸一郎
 連合会＝ 古谷 誠章(会長)、小野田 吉純(専務)
 事務局＝ 鴛海 浩康(常務)、小川 和久、宮林 正彦

欠席者 茨城＝ 柴 和伸

開催挨拶 江口プロ会長挨拶

連合会挨拶 古谷連合会会長挨拶

議事

- 1 関ブロ令和7年度決算案と令和8年度予算案について
 合わせて、関ブロ関係会議等への旅費の支払い方法について検討
- 2 関ブロ会長会・理事会の今後の開催方法等について(案)
- 3 関ブロ令和8年度の会長会・理事会の開催日程について
 - 第3回会長会・第2回理事会の開催候補日
 - ① 10月27日(火)、② 10月29日(木)
 - 第4回会長会・第3回理事会の開催候補日
 - ③ 2月16日(火)、④ 2月17日(水)
 - ⑤ 2月18日(木)、⑥ 2月25日(木)

※ いずれも、首都圏開催で、会長会は12:00開始となる見込みです。
- 4 関ブロ青年協ぐんま大会について
 - 日時：令和8年6月19日(金) 12時00分 開会
 11:20より昼食、青年協よりご挨拶
 - 会場：舌切雀のお宿 磯部ガーデン(〒379-0127 群馬県安中市磯部1-12-5)
 - 交通：ご参考
 - ① 9:04 東京駅発あさま605号⇒高崎駅9:51着
 10:22 高崎駅発の信越本線にて⇒磯部駅10:41着
 - ② 9:44 東京駅あさま607号⇒安中榛名駅10:51着 タクシー20分
- 5 建築士会全国大会ぐんま大会(10月16日・17日)について

6 令和8・9年度ブロック推薦の連合会委員の確認について

- | | | |
|------------------|--------|--------------|
| ① 法制度本委員会 | <千葉県> | 堀川 成良 |
| ② 教育・事業本委員会 | <埼玉県> | 加藤 正志 |
| ③ まちづくり委員会 | <栃木県> | 渡邊 清（再任） |
| ④ CPD/専攻建築士制度委員会 | <神奈川県> | 村山 勉（再任） |
| ⑤ 青年委員会 | | 谷 亮介（茨城県） |
| ⑥ 女性委員会 | | 安藤 めぐみ（神奈川県） |
| ⑦ 役員候補者選考委員会 | <神奈川県> | 上原伸一（会長） |

7 各都県の活動状況について

・長野

・新潟

・千葉

・東京

・群馬

・山梨

・神奈川

・栃木

・埼玉

・茨城

8 その他

令和8年度「関ブロ 職員会議」

- ・ 日程：令和8年7月31日（金）14：00 ～
- ・ 場所：神奈川県建築士会（近隣会議室）
- ・ 議題：各都県の状況報告、意見交換、等

※「建築士登録機関等連絡協議会 意見交換会」を同時開催します。

関ブロ令和8年度第1回会長会議 議事概要

日 時 令和8年4月11日(金) 12:30～14:45
会 場 ホテル犀北館(長野市県町528-1) 南館2階「サロン1」
出席者 茨城＝ 柴 和伸(会長)、長野＝ 江口 信行
新潟＝ 田中 隆司 千葉＝ 久宮 清敏
東京＝ 佐々木 龍郎 群馬＝ 高橋 康夫
山梨＝ 長田 正彦 神奈川＝ 上原 伸一
栃木＝ 田村 哲男 埼玉＝ 丸岡 庸一郎
連合会＝ 古谷 誠章(会長)、小野田 吉純(専務)
事務局＝ 鷺海 浩康(常務)、小川 和久、宮林 正彦
□ 15時より本館2階@グランドボールルーム EASTにて理事会を開催

開会に先立ち、鷺海常務から本日会長会・理事会の大まかな時間進行について説明があった。

開催挨拶 柴 関ブロ会長挨拶

本日は、長野までおいでいただき、ありがとうございます。

次の理事会中に長野県江口会長に令和8年度関東ブロック会会長をお願いすることとなるが、そこまでの間はよろしくお願いしたい。

連合会挨拶 古谷連合会会長挨拶

関東ブロからの推薦を受けて連合会長に就任し、その間に全国大会、財政健全化検討TFや、先ごろにはJAPANアーキテクトの制度に向けてスタート切ったところだ。

2期目についても関ブロから推薦をいただき、先ごろの役員候補者選考委員会では他ブロックからの推薦がない等の話であった。

これからは、若い人たちが中心となる会に持っていくことで、継続・発展してことを目指し、2期目を務めさせていただきたいと考えている。引き続きよろしくお願いしたい。

議事

1 本日の理事会議事について

事務局から、本日続いて開催される理事会の議事について説明があった。

令和7年度収支報告と8年度予算については、追って説明させていただき、今回は、7年度の事業報告と8年度の事業計画について説明させていただく。

優良建築物表彰として、住宅部門は、新潟県、千葉県、神奈川県から、また、一般建築部門は、新潟県、神奈川県からの計5作品が推薦されており、これをご承認

だくこととなる。

役員理事選出については、本日は、8 年度会長の長野県江口会長と、次年度会長になられる新潟県田中会長の副会長の就任と、鷺海常務の就任を承認いただくこととなる。

また、8 年度も引き続き、優良建築物表彰を行いたいということの承認。

次回の会長会は、連合会総会（6 月 16 日・火）に合わせての開催となること。

関ブロ事務局については、前回理事会において報告・承認されたことだが、神奈川士会が引き継ぐということから神奈川士会のMA Pなどを示すこととなる。

上原会長から連合会財政健全化TF のアンケートについてご報告いただく。

連合会からの諸報告がある。

2 次回開催について

次回の会長会は、連合会総会（6 月 16 日・火）に合わせての開催となる。

1) 第2回会長会議

6 月 16 日(火) 11:00~13:00 建築会館 308 会議室

13:30 より連合会総会・臨時理事会へご参加

2) 青年協ぐんま大会 磯部ガーデン(安中市) 12 時より開会式

6 月 19 日(金) 11:20 より昼食、青年協よりご挨拶

また、群馬県高橋会長から青年協ぐんま大会について、当日の交通について案内があった。

1 9:04 東京駅発あさま 605 号高崎駅 9:51 着・

10:22 高崎駅発の信越本線)にて、磯部駅 10:41 着

2 9:44 東京駅あさま 607 号⇒安中榛名 10:51 タクシー20 分

3 連合会各委員会委員の任期満了に伴う新委員の選考及びご推薦について

連合会からの推薦依頼が現時点ではないが、あることを前提として、推薦の都県について議論。

総務・企画委員会は正副会長会と合同開催となることから、関ブロからの推薦は不要。

該当士会からは、神奈川県建築士会に選考結果へ報告をお願いする。

〔令和 8・9 年度ブロック推薦連合会委員〕

※「総務・企画委員会」への委員推薦はなし。

1 法制度本委員会 <千葉県>

2 教育・事業本委員会 <埼玉県>

3 まちづくり委員会 <栃木県>

4 青年委員会 <青年協協議 継続協議中>

5 女性委員会 <女性協輪番 神奈川県：安藤 めぐみ様>

6 CPD/専攻建築士制度委員会 <神奈川県>

8 役員候補者選考委員会

役員候補者選考委員会は、茨城柴会長の推薦で神奈川上原会長を推薦する。

※非理事県の茨城県は、今回選出希望なし。

4 関ブロ版「U40〇〇建築士賞」について

今年度は近畿ブロックで開催され、後年度の後半に募集が開始されるので、それを参考にして、できるブロック会から順に、関ブロとしても実施について検討していく。

連合会古谷会長から資料により補足説明あり。

5 東京建築士会事務局移転について

鴛海常務（東京士会専務）から説明。

固定費の減少を図るため、事務所を移転することとした。

移転先は、

中央区日本橋本町4-15-1 岩月日本橋ビル8階（38.51坪）

移転日 令和8年8月

最寄駅 小伝馬町駅 徒歩4分 / 新日本橋駅 徒歩5分 /

三越前駅 徒歩7分 / 馬喰町駅 徒歩9分 / 神田駅 徒歩10分

関ブロ関係の会議は、近隣の貸会議室を利用すれば可能となる。

6 各都県の近況報告

東京都建築士会

このところ、事務局職員の退職が続いている。

会費の値上げ（R7）により、未収会費が増え、回収に努めている。

今年度の会費収入状況は前年度よりは好調。

長野県建築士会

新年度の事業として、空き家対策について県と協議を進めている。

事務局運営として、固定経費の削減に努めている。

新潟県建築士会

コンペ事業の見直しを行おうとしており、参加者の増と経費のバランスが難しいところ。

令和2年から会費を値上げした後、会員の退会が続き、財政状況が厳しい。

事務局職員の補充も難しい。

山梨県建築士会

昨年末に会費値上げを決定したが、今後とも会員への説明が必要と考えている。

県と木材利用促進の協定を締結について検討を始めている。

山梨県のリニア新幹線駅の工事に着工した。

栃木県建築士会

会員数減少の危機感の共有と各支部のモチベーションを高めるため、8年度から会員増強の助成金の制度を作った。

各市町村との災害協定の締結と、災害対応のマニュアル作りを進めている。

群馬県建築士会

少ない事務局職員で運営している。

今年度は役員改選の時期だが、全国大会もあり、役員全員が留任することとしている。

全国大会と青年協大会の運営に万全を期すよう、青年委員長・実行委員長等が中心となり取り組んでいる。

全国大会については、「建築士」5月号と9月号に掲載される予定。

群馬県の建築5団体が主催し、群馬らしい建築等を表彰する取組を進めている。

神奈川県建築士会

会員増強の取組みを進めており、7年度の会員数の速報値として、10数名の減となり、純増にはならなかったものの、減少幅を大きく抑えられた。

会員増強の取組の一つとして、著名建築家の講演会を継続開催しており、この5月には小堀哲夫氏を招いての講演会を開催する。

3Dのコンペを開催したが、審査員は会員の方にお願ひし、お金をかけないようにしている。

会員特典として、割引施設のマップの作成を進めている。

建築士が多く在籍する団体に出向き、入会・会員増強をアピールしている。

事務局職員の退職等が続き、運営に苦慮している。

千葉県建築士会

関係団体と実施している「建築学生賞」を支援する活動を行っている。

県から県職員向けの住家被害認定の講習会の開催の依頼が来ている。

近現代建造物緊急重点調査を実施するが、予備調査に向けて取り組んでいる。

文化庁の補助事業で、ヘリテージマネージャーのステップアップ講座が採択されている。

事務局職員の退職を控え、体制の維持に努めている。

会員数の減少が続き、若手会員が継続するよう対応を検討している。

埼玉県建築士会

臨時総会を開催し、会費値上げを決定した。

値上げに見合ったインセンティブづくりを検討している。

値上げ後の会員数の動向を注視している。

支部活動が活性化されている。

木材利用促進も県とともに進めている。

埼玉県建築文化賞について、審査員は会員の中で行い、経費削減に努めている。

古谷連合会会長

コンペにおいて、審査委員を依頼される際は、公開性を高めて、参加のハードルを低くするように要望をしている。

そのようなプロポーザルを経た建築物が各地にあると、建築士のステータスを高めることにつながっていくので、各士会から自治体に公共建築のプロポーザル審査を推進するようにお願いしてほしい。必要であれば、審査員候補を紹介する。

その他の議論

- ・ 関ブロ事務局は神奈川士会に移管するが、会計は当面東京士会が担当する。
- ・ 関ブロ関係の会議に係る参加者の旅費（交通費）は、現行の当日の現金支給から、各自の口座への振込について、次回会長会にでもご検討いただきたい。
- ・ 令和9年度以降の各士会の関ブロ会費については、負担増はやむを得ないところもあるが、6月の会長会にお諮りしたい。

日本建築士会連合会 常設的委員会への委員の推薦状況

(関東甲信越ブロック)

下記の網掛部はブロック推薦非理事県による委員推薦優先枠

	H28・29年度	H30・31年度	令和2・3年度	4・5年度	6・7年度	8・9年度
総務・企画委員会 (委員名)	埼玉県 エグチ ミッシ 江口 満志	埼玉県 エグチ ミッシ 江口 満志	茨城県 マシコ カズヒコ 益子 一彦	埼玉県 エグチ ミッシ 江口 満志	群馬県 サカグチ タケン 坂口 武	正副会長と 合同開催となる ことから 推薦不要
法制度本委員会	群馬県 サカグチ タケン 坂口 武	山梨県 モチヅキ ユウジ 望月 雄二	山梨県 モチヅキ ユウジ 望月 雄二	群馬県 サカグチ タケン 坂口 武	山梨県 タカソウ マサキ 高相 正樹	千葉県 ホリカワ シゲヨシ 堀川 成良
教育・事業 本委員会	神奈川 カウチ タカシ 河内 崇	長野県 クボデラ ヒロユキ 窪寺 弘行	新潟県 タナカ タカシ 田中 隆司	千葉県 ヒサミ キヨシ 久富 清敏	新潟県 タナカ みちよ 田中 みちよ	埼玉県 カウ タカシ 加藤 正志
まちづくり委員会	群馬県 タカハシ ヤスオ 高橋 康夫	群馬県 タカハシ ヤスオ 高橋 康夫	長野県 ヨシカワ タカヒサ 吉川 貴久	神奈川県 アカガワ マ リ 赤川 真理	栃木県 ワタナベ キヨシ 渡邊 清	栃木県 ワタナベ キヨシ 渡邊 清
CPD/専攻建築士制度	新潟県 ナガノ ムツアキ 長野 睦明	栃木県 カシマ ツネタカ 片嶋 常隆	栃木県 カシマ ツネタカ 片嶋 常隆	長野県 オカエ タダシ 岡江 正	神奈川県 ムラヤマ ツトム 村山 勉	神奈川県 ムラヤマ ツトム 村山 勉
青年委員会 (協議により選出)	長野県 テラサワ アキノリ 寺澤 彰訓	長野県 テラサワ アキノリ 寺澤 彰訓	東京都 ホンダ ヨシヒロ 細田 義裕	茨城県 フジタ ヤスヒロ 藤田 康弘	新潟県 ヒラヤマ タカシ 平山 貴士	茨城県 タニ リョウスケ 谷 亮介
女性委員会 (輪番制で選出)	東京都 タラオ ナオコ 多羅尾 直子	山梨県 マツノ ノリコ 松野 範子	栃木県 サクライ スミコ 櫻井 澄子	茨城県 オヌキ ヒロミ 小貫 弘巳	群馬県 ハギワラ カオリ 萩原 香	神奈川県 アンドウ めぐみ 安藤 めぐみ
役員候補者 選考委員会	令和2年役員候補者選考委員会T 3年度役員候補者選考規程の改正に伴う			4年度会長 ウエハラ シンイチ 上原 伸一	5年度会長 シバタ ミチオ 柴田 道夫	神奈川県 ウエハラ シンイチ 上原 伸一

※任期は1期2年、最長でも同一委員会へのブロック推薦は2期までとする。2期までとする。

連合会理事のブロック推薦枠 (下記の○はブロック推薦理事、◆は非制限職種の連合会長推薦理事を示す)

茨城県	○			○	○柴 和伸	
長野県	○		○		●江口信行	○江口信行
新潟県		○		○		副○田中 隆司
千葉県	○	○	副会長		○久富清敏	
群馬県			○			○高橋 康夫
山梨県	○	○	○	○		○長田 正彦
神奈川県		○	監事	(辞退)	副○上原伸一	
栃木県	○			○		
埼玉県			○		○丸岡 庸一郎	
東京都	—	○	連合会長	副会長	会長:古谷誠章	○佐々木 龍郎
推薦枠数 ⇒	5	5	5	5	5	5

【 各委員会の活動報告 】

第 1 回理事会(令和 8 年5月 20 日)以降の委員会活動報告

〈総務・企画委員会〉

○委員会の開催状況

第2回委員会の開催

期 日:令和 8 年 8 月 7 日午後 3 時～

場 所:市町村会館 2 階 203 会議室

〈協議事項〉

- ・7月末仮決算について
- ・総会・納涼会の報告及び反省点等について
- ・第 68 回全国大会「ぐんま大会」について
- ・令和 8 年度の主な事業について
- ・会員増強運動について

○事業活動報告

①令 8 年度(第74 回)通常総会の開催

期 日:令和 8 年 5 月 29 日午後 3 時

会 場:ホテルレイクビュー水戸

出席者:総会(166 名) 委任状(188 名) 計 354 名

②第 13 回合同大納涼会

期 日:令和 7 年 7 月 11 日午後5時00分～

会 場:ホテル・テラスザガーデン水戸

参加者:191 名

〈研修委員会〉

○委員会の開催状況

開催なし(第1回 8 月 27 日開催予定)

○事業活動報告

①定期講習

◆第 1 回

期 日:令和 8 年 7 月 23 日

会 場:研修センター

受講者:75 名

③建築士試験の実施

- ・二級建築士〈学科〉令和 8 年 7 月 5 日(日)水戸啓明高校
受験者数 367 名(実受験者 282 名:出席率 76.8%)
- ・一級建築士〈学科〉令和 8 年 7 月 26 日(日)水戸工業高校
受験者数 520 名(実受験者 368 名:出席率 70.8%)
- ・木造建築士〈学科〉令和 8 年 7 月 26 日(日)水戸工業高校
受験者数 1 名(実受験者 0 名:出席率 0.0%)

④令和 8 年度建築パトロール(県委託事業)

(第 1 回)・・・各支部の実施途中結果

・実施期間:令和 8 年 7 月 3 日 ～ 7 月 25 日

・点検件数:19 支部(35 市町村) 937 件

・結 果:違反 0 件、表示板未掲示 59 件、工事監理者なし 6 件

※第 2 回パトロールは、令和 8 年 1 月下旬頃に実施予定

⑤既存住宅状況調査技術者養成講習の実施(新規、更新者向け講習)

オンライン講習 5月～8月 更新講習 4 名

5月～8月 新規講習 2 名

合計 6 名

〈会員委員会〉

○委員会の開催状況

第 1 回委員会の開催

期 日:令和 8 年 6 月 2 日午後 3 時～

場 所:市町村会館 2階 会議室

〈協議事項〉

・会員増強運動の結果について(各委員の取り組みを報告)

・令和 8 年度事業計画について

・チャリティゴルフ大会について

・その他

○事業活動報告

①第 34 回チャリティゴルフ大会

期 日:令 107 年 6 月 25 日

会 場:富士カントリー笠間倶楽部

参加者:106 名 優勝 個人の部:関根 淳氏(賛助会) 団体の部:県庁支部

〈情報・広報委員会〉

○委員会の開催状況

第 2 回委員会の開催

期 日:令和 8 年 7 月 21 日午後 3 時～

場 所:市町村会館 2階 会議室

〈協議事項〉

・会員増強運動について(各委員の取り組みを報告)

・会報「建築いばらき」No.119 号意見、No.120 号の編集について

・建築士会 Web サイト、F. B、Instagram 等について

・その他

○事業活動報告

①会報誌 No.119 号(総会号)の発刊(令和 8 年 7 月配布)

②定期的なホームページの更新及び F. B、Instagram 活用の推進等

③木造住宅耐震診断士養成講習会

期 日:令和 8 年 7 月 30 日

会 場:茨城県市町村会館 1 階 講堂

受講者:93 名(うち、民間 45 名)

〈まちづくり委員会〉

○委員会の開催状況

第2回委員会の開催

期 日:令和8年6月23日午後3時

場 所:市町村会館 2階会議室

〈協議事項〉

- ・会員増強運動について
- ・これからの運営について
- ・その他

○事業活動報告 (活動なし)

【青年委員会】

○委員会の開催状況

開催なし(第1回 月 日開催予定)

○事業活動報告

①関プロ青年協議会「群馬大会」:安中市 舌切り雀のお宿「磯部ガーデン」

令和8年6月19日～20日 1都9県約400名参加(茨城から27名参加)

関プロ青年委員会理事による:理事会(青年大会前日に対面開催)

【女性委員会】

○委員会の開催状況

第1回委員会の開催

期 日:令和8年7月1日 14時30分～16時30分

場 所:水戸市 古民家カフェ

〈協議事項〉

- ・R8単年度事業について
- ・全.建.女「東京大会」について
- ・わくわく、ラブアークセミナーについて
- ・会員増強について
- ・その他

○事業活動報告

◆全国女性建築士連絡協議会

期 日:令和8年7月19日～20日

場 所:東京都「建築会館」ホール

参加者:11名参加

各種セミナー

◆ラブアークセミナー

第1回 テーマ:施設見学会(クヴェート美術館)

期 日:令和8年7月4日(土)

場 所:水戸市

参加者:22名

第2回 テーマ:「 チョークアート 」 ワークショップ
期 日:令和 8 年 7 月 11 日(土)
場 所:放課後等ディサービス会議室
参加者:9 名

◆わくわくセミナー

第1回 テーマ:AIとの上手な付き合い方
期 日:令和 8 年 4 月 22 日(水)
場 所:土浦三中地区公民館
参加者:20 名

第2回 テーマ:見学会「木のぬくもりあふれる子育て空間を訪ねて」
期 日:令和 8 年 7 月 25 日(土)
場 所:阿見町町
参加者:13 名

【CPD委員会】

○委員会の開催状況

開催なし

○CPD登録者

令和 8 年度 218 名(うち非会員 37 名)

令和 8 年度更新 約 195 名(更新料支払者)

○専攻建築士

令和 8 年度更新対象者 2 名(過去 5 年間に 4 名登録更新)

〈委員会以外の活動〉

(1)市町村の空き家対策事業への支援

①空き家無料相談会の支援(支部会員の協力)

○つくば市無料相談会

日 時:令和 8 年 6 月 6 日

協力者:筑波支部 3 名

○牛久市無料相談会

日 時:令和 8 年 6 月 20 日

協力者:竜ヶ崎支部 1 名

○ひたちなか市無料相談会

日 時:令和 7 年 7 月 26 日

協力者:ひたちなか支部 1 名

○つくばみらい市無料相談会

日 時:令和 8 年 7 月 11 日

協力者:筑波支部 2 名

○東海村無料相談会

日 時:令和 8 年 10 月 17 日の計画

協力者:ひたちなか支部 1 名

○水戸市無料相談会

日 時:令和 9 年 1 月～2 月の計画

協力者:県央支部 2 名

②特定空き家等判定基礎調査

常総市、石岡市、つくばみらい市、下妻市、行方市から特定空き家等に関する
判定基礎調査、空き家バンク登録補助業務等を受託(各管轄支部で対応)

仮決算報告書

自 令和 8 年 4 月 1 日

至 令和 8 年 7 月 31 日

一般社団法人 茨城県建築士会

水戸市笠原町978-30建築会館2階

貸 借 対 照 表

令和 8 年 7 月 31 日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資 産 の 部			
1 流 動 資 産			
現 金	798,023	459,838	338,185
普 通 預 金	9,847,379	5,507,650	4,339,729
棚 卸 資 産	237,291	223,948	13,343
立 替 金	27,220	27,220	
流動資産 合計	10,909,913	6,218,656	4,691,257
2 固 定 資 産			
(1) 特 定 資 産			
その他 積立預金	29,713,037	33,213,037	△3,500,000
運営資金積立預金	20,300,000	24,300,000	△4,000,000
80周年積立預金	2,124,435	1,624,435	500,000
関プロ茨城積立預金	2,288,602	2,288,602	
災害積立預金	5,000,000	5,000,000	
特定資産 合計	29,713,037	33,213,037	△3,500,000
(2) その他固定資産			
什 器 備 品	527,269	426,802	100,467
保 証 金	40,284	40,284	
その他固定資産合計	567,553	467,086	100,467
固定資産 合計	30,280,590	33,680,123	△3,399,533
資 産 合 計	41,190,503	39,898,779	1,291,724
II 負 債 の 部			
1 流 動 負 債			
預 り 金	52,719	39,750	12,969
流動負債 合計	52,719	39,750	12,969
2 固 定 負 債			
運営資金引当金	20,300,000	24,300,000	△4,000,000
80周年資金引当金	2,124,435	1,624,435	500,000
関プロ茨城引当金	2,288,602	2,288,602	
災害積立引当金	5,000,000	5,000,000	
固定負債 合計	29,713,037	33,213,037	△3,500,000
負 債 合 計	29,765,756	33,252,787	△3,487,031
III 正味 財産の部			
1 一 般 正 味 財 産	11,424,747	6,645,992	4,778,755
正味財産 合計	11,424,747	6,645,992	4,778,755
負債及び正味財産合計	41,190,503	39,898,779	1,291,724

正味財産増減計算書

令和 8 年 4 月 1 日から 令和 8 年 7 月 31 日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常 増減の部			
(1) 経 常 収 益			
① 受 取 入会金	(40,000)	(50,000)	(Δ10,000)
受 取 入会金	40,000	50,000	Δ10,000
② 受 取 会 費	(13,224,200)	(10,508,600)	(2,715,600)
正会員受取会費	7,576,400	6,209,000	1,367,400
準会員受取会費	127,800	129,600	Δ1,800
賛助会員受取会費	5,520,000	4,170,000	1,350,000
③ 事 業 収 益	(7,714,190)	(10,763,860)	(Δ3,049,670)
講習会 収 益	45,882	618,670	Δ572,788
図書等頒布収益	1,750,074	4,323,758	Δ2,573,684
事業 受託収益	2,304,334	2,483,132	Δ178,798
手数料 収 益	160,300	148,000	12,300
委員会部会等事業収益	3,453,600	3,190,300	263,300
④ 受取 補助金等	(0)	(322,000)	(Δ322,000)
受取事業助成金		322,000	Δ322,000
⑤ 雑 収 益	(2,312,071)	(3,038,202)	(Δ726,131)
受 取 利 息		2,373	Δ2,373
雑 収 益	2,312,071	3,035,829	Δ723,758
経 常 収益計	23,290,461	24,682,662	Δ1,392,201
(2) 経 常 費 用			
① 事 業 費			
事業経費	(4,017,663)	(5,359,268)	(Δ1,341,605)
旅 費 交通費	500,000	442,500	57,500
通 信 運搬費	356,025	482,224	Δ126,199
消 耗 品 費	14,924	95,740	Δ80,816
印 刷 製本費	83,333	31,669	51,664
賃 借 料	154,320	253,550	Δ99,230
諸 謝 金	55,685	71,253	Δ15,568
支 払 助成金	109,000	331,500	Δ222,500
支 払 寄付金	230,000	230,000	
委 託 費		198,000	Δ198,000
図 書 仕入費	632,360	2,708,412	Δ2,076,052
諸 会 費	1,820,268	473,133	1,347,135
交 際 費	8,848	16,937	Δ8,089
広 告 宣伝費	33,000		33,000
雑 費	19,900	24,350	Δ4,450
事 業 費 計	4,017,663	5,359,268	Δ1,341,605

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
② 管 理 費			
給 料 手 当	7,672,862	7,408,954	263,908
福 利 厚生費	1,534,397	1,534,260	137
中 退 金掛金	208,000	206,340	1,660
総 会 費	2,034,890	2,063,694	Δ28,804
理 事 会 費	155,397	150,658	4,739
諸 会 議 費	40,000	917,910	Δ877,910
連 合 会 費	1,813,080	1,889,930	Δ76,850
団 体 会 費	211,600	93,600	118,000
会 計 報 酬	88,000	88,000	
租 税 公 課	1,389,700	1,377,300	12,400
旅 費 交通費	102,504	107,596	Δ5,092
通 信 運搬費	679,654	680,461	Δ807
消 耗 品 費	122,995	186,125	Δ63,130
印 刷 製本費	231,330	128,480	102,850
機 械 借損費	712,741	651,766	60,975
慶 弔 費	874,228	606,991	267,237
家 賃	548,829	548,829	
事務所 共益費	410,619	410,619	
雑 費	158,999	126,505	32,494
管 理 費 計	18,989,825	19,178,018	Δ188,193
経 常 費用計	23,007,488	24,537,286	Δ1,529,798
評価損益等調整前当期経常増減額	282,973	145,376	137,597
③ 特定資産評価益	(0)	(213,660)	Δ213,660
特定資産積立資産評価益		213,660	Δ213,660
④ 特定資産評価損	(0)	(2,262)	Δ2,262
特定資産積立預金繰入額		2,262	Δ2,262
特定資産評価損益等	0	211,398	Δ211,398
評価損益等 計	0	211,398	Δ211,398
当期経常増減額	282,973	356,774	Δ73,801
2 経常外増減の部			
(1) 経常外 収 益			
経常外 収益計	0	0	0
(2) 経常外 費 用			
経常外 費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	282,973	356,774	Δ73,801
当期一般正味財産増減額	282,973	356,774	Δ73,801
一般正味財産期首残高	11,141,774	6,289,218	4,852,556
一般正味財産期末残高	11,424,747	6,645,992	4,778,755

(単位：円)

科	目	当 年 度	前 年 度	増 減
Ⅱ	指定正味財産増減の部			
	当期指定正味財産増減額	0	0	0
	指定正味財産期首残高	0	0	0
	指定正味財産期末残高	0	0	0
Ⅲ	正味財産期末残高	11,424,747	6,645,992	4,778,755

財 産 目 録

令和 8 年 7 月 31 日 現在

(単位：円)

科 目		金 額		
Ⅰ 資 産 の 部				
1 流 動 資 産				
現金・預金				
現金		798,023		
普通預金	常陽銀行県庁支店	9,382,301		
	常陽銀行本店	152,581		
	東日本銀行	162,327		
	関プロ茨城大会	150,170		
棚卸資産		237,291		
立替金		27,220		
流動資産 合計			10,909,913	
2 固 定 資 産				
(1) 特 定 資 産				
その他 積立預金	運営資金積立預金	20,300,000		
	80周年積立預金	2,124,435		
	関プロ茨城積立預金	2,288,602		
	災害積立預金	5,000,000		
特定資産 合計		29,713,037		
(2) その他固定資産				
什器備品		527,269		
保証金		40,284		
その他固定資産合計		567,553		
固定資産 合計			30,280,590	
資 産 合 計				41,190,503
Ⅱ 負 債 の 部				
1 流 動 負 債				
預り金		57,870		
流動負債 合計			57,870	
2 固 定 負 債				
運営資金引当金		20,300,000		
80周年資金引当金		2,124,435		
関プロ茨城引当金		2,288,602		
災害積立引当金		5,000,000		
固定負債 合計			29,713,037	
負 債 合 計				29,770,907
正 味 財 産				11,419,596

予算管理表

(令和8年4月1日から令和8年7月31日まで)

※進捗率の目安・・・4／12ヶ月 ＝33.3%

I 事業活動収支の部

(決算額は税込み額)

大科目	中科目	小科目	予算額	決算額	差異	率	備 考
(1) 事業活動収入			(単位：円)				
入会金収入	入会金収入	入会金収入	50,000	40,000	10,000	80.00	賛助会@10,000×4社
会費収入	会費収入		29,578,000	13,224,200	16,353,800	44.71	
		正会員会費収入	23,400,000	7,576,400	15,823,600	32.38	@15,600／年・人
		準会員会費収入	378,000	127,800	250,200	33.81	@10,800／年・人
		賛助会員会費収入	5,800,000	5,520,000	280,000	95.17	@40,000（年会費）× 138社 ※年度初めに納めてもらっているため
事業収入			47,753,000	7,714,190	40,038,810	16.15	
	講習会収入		4,050,000	45,882	4,004,118	1.13	
		法定定期講習会収入	1,030,000	29,262	1,000,738	2.84	監理員日当 前年度調整分
		指定講習会収入	1,710,000	0	1,710,000	0.00	
		研修講習会収入	1,310,000	16,620	1,293,380	1.27	既存住宅委託費
	図書等頒布収入		3,350,000	1,750,074	1,599,926	52.24	
		出版図書収入	1,700,000	803,000	897,000	47.24	県条例 宅地開発資料集
		用紙等頒布収入	10,000	0	10,000	0.00	
		斡旋図書収入	1,600,000	938,714	661,286	58.67	法令集 建築申請メモ 建築消防アドバイス 等
		表示板頒布収入	40,000	8,360	31,640	20.90	
	事業受託収入		30,448,000	2,304,334	28,143,666	7.57	
		試験受託収入	3,465,000	2,099,680	1,365,320	60.60	1・2級建築士試験受託費 第1回787,380 第2回1,312,300 ※第3回委託費は12月入金予定
		調査受託収入	3,729,000	0	3,729,000	0.00	建築パトロール委託費 ※年度末入金予定
		判定士認定業務受託収入	2,794,000	0	2,794,000	0.00	応急危険度判定士関係業務委託費 ※年度末入金予定
		事務受託収入	2,100,000	50,654	2,049,346	2.41	1級免許受付業務受託費
		耐震診断派遣業務受託収入	18,360,000	154,000	18,206,000	0.84	特定空家現地調査委託費（常総市） ※年度末入金予定
	手数料収入		2,735,000	160,300	2,574,700	5.86	
		二級・木造建築士事務手数料収入	2,735,000	160,300	2,574,700	5.86	新規@24,400×3名 書換等@5,900×14名 証明書@400×2名 送料7名 ※12月の合格発表以降の入金予定
	委員会等事業収入		7,170,000	3,453,600	3,716,400	48.17	
		事業収入	7,170,000	3,453,600	3,716,400	48.17	CPD登録料・更新料等790,100 総会978,000 ゴルフ大会521,500 納涼会1,134,000 他
補助金等収入	事業助成金収入		200,000	0	200,000	0.00	
		連合会助成金収入	200,000	0	200,000	0.00	連合会助成金 ※年度末入金予定
雑収入			8,620,000	2,312,071	6,307,929	26.82	
	受取利息収入		0		0	0.00	普通預金・定期預金 利息
	雑収入		8,620,000	2,312,071	6,307,929	26.82	
		資料発送支部負担金収入	3,240,000	725,678	2,514,322	22.40	支部より毎月の発送費収入560,678 企業PRチラシ同封サービス料165,000
		広告・協賛金収入	4,880,000	1,538,000	3,342,000	31.52	苗木事業1,000,000 けんちく茨城広告205,000 バナー広告200,000 封筒広告120,000 会員名簿13,000
		雑収入	500,000	48,393	451,607	9.68	送料 県央支部印刷代 他
事業活動収入計(A)			86,201,000	23,290,461	62,910,539	27.02	

大科目	中科目	小科目	予算額	決算額	差異	率	備	考
(2) 事業活動支出			(単位：円)					
事業費支出			39,741,200	4,017,663	35,723,537	10.11		
	講習会費支出		1,737,000	124,150	1,612,850	7.15		
		法定定期講習会費支出	328,000	122,350	205,650	37.30	(7/23) 122,350	
		指定講習会費支出	903,000	0	903,000	0.00		
		研修講習会費支出	506,000	1,800	504,200	0.36	既存住宅状況調査オンライン学習	
	けんちく茨城印刷費支出		1,000,000	2,530	997,470	0.25	案内発送料	
	情報通信普及推進費支出		260,000	157,300	102,700	60.50	H P作成費	
	C P D制度推進費支出		193,000	26,490	166,510	13.73	カード作成費9,900 案内発送料16,590	
	委 託 事 業 費 支 出		20,179,000	565,610	19,613,390	2.80		
		調査業務実施費支出	3,090,000	2,000	3,088,000	0.06	※年度末支出予定	
		応急危険度判定士認定業務費支出	900,000	3,000	897,000	0.33	※年度末支出予定	
		試験業務実施費支出	500,000	238,268	261,732	47.65	建築士試験学科235,272 備品代2,996	
		事務受託支出	1,010,000	318,342	691,658	31.52	2級免許作成費35,013 木耐震養成講習会229,129 ICBA44,000 他	
		耐震診断派遣業務委託費支出	14,679,000	4,000	14,675,000	0.03	※年度末支出予定	
	普及宣伝費支出		850,000	217,800	632,200	25.62		
		対社会の事業費支出	350,000	100,000	250,000	28.57	ゴルフチャリティー金	
		会員増強促進費支出	200,000	84,800	115,200	42.40	会員証作成費19,800 会員増加表彰65,000	
		広報費支出	300,000	33,000	267,000	11.00	新聞広告掲載料	
	研修費支出		4,130,000	1,714,760	2,415,240	41.52		
		研修費支出	650,000	14,000	636,000	2.15	日帰り見学会（11月3日開催）	
		親睦事業費支出	3,480,000	1,700,760	1,779,240	48.87	ゴルフ大会239,280 納涼会1,461,480	
	委員会費支出		1,200,000	328,795	871,205	27.40	各委員会の旅費235,500 会計監査39,037 会場費・会議水代44,028 他	
	青年女性委員会費支出		3,402,200	78,868	3,323,332	2.32	青年(関プロ大会等) 女性(各セミナー等)	
	助成金支出		1,950,000	0	1,950,000	0.00	文化賞・学生賞 全国大会助成金	
	賛助会活動費支出		200,000	39,000	161,000	19.50	幹事会・全体会議経費	
	まちづくり活動費支出		690,000	0	690,000	0.00	まちづくり活動費	
	出版事業費支出		2,050,000	632,360	1,417,640	30.85		
		図書製本費支出	600,000	138,380	461,620	23.06	県条例 宅地開発資料集	
		法令用紙作成費支出	0	0	0	0.00		
		幹旋図書仕入費支出	1,400,000	493,980	906,020	35.28	申請メモ 消防アドバイス 法令集 他	
		表示板仕入費支出	50,000	0	50,000	0.00	表示板	
	地域貢献活動費支出	地域貢献活動費支出	1,900,000	130,000	1,770,000	6.84	寄付金130,000 ※苗木代は年度末支払予定	
管理費支出			51,528,000	18,989,825	32,538,175	36.85		
	給料手当支出		20,800,000	7,672,862	13,127,138	36.89		
		給料支出	15,000,000	5,000,000	10,000,000	33.33	4月～7月分	
		手当支出	5,800,000	2,672,862	3,127,138	46.08	4月～7月分・賞与1回	
	中退金掛金支出		648,000	208,000	440,000	32.10	退職金積立	
	福利厚生費支出		3,900,000	1,534,397	2,365,603	39.34	社会保険1,108,135 労働保険336,946 他	
	会議費支出		3,280,000	2,230,287	1,049,713	68.00		
		総会費支出	2,200,000	2,034,890	165,110	92.50	5/29開催（令和8年度通常総会）	
		理事会費支出	680,000	155,397	524,603	22.85	旅費115,000 会場費40,397	
		諸会議費支出	400,000	40,000	360,000	10.00	関プロ会長会理事会懇親会費	

大科目	中科目	小科目	予算額	決算額	差異	率	備	考
管理費支出（つづき）	会計報酬支出		270,000	88,000	182,000	32.59	報酬額：月22,000円	
	租税公課費支出		2,500,000	1,389,700	1,110,300	55.59	県民税・市民税 消費税	
	負担金支出		6,760,000	2,024,680	4,735,320	29.95		
		連合会費支出	5,860,000	1,813,080	4,046,920	30.94	4月～7月分@290円	
		関ﾌﾞ会費支出	600,000	0	600,000	0.00	年会費 ※年度後半支出予定	
		団体会費支出	300,000	211,600	88,400	70.53	建産連95,000 建築関係団体交流会40,000 やみぞの森30,000 他団体46,600	
	旅費交通費支出		550,000	102,504	447,496	18.64	ガソリン代40,424 会長・役員、事務局員出張費62,080	
	通信運搬費支出		3,000,000	679,654	2,320,346	22.66	メール便532,299 電話・F A X57,577 宅急便代30,613 他	
	什器備品費支出		0	0	0	0.00		
	消耗品費支出		1,050,000	122,995	927,005	11.71	コピー用紙代44,269 印刷機インク代36,784 事務用品41,942	
	印刷製本費支出		1,800,000	231,330	1,568,670	12.85	封筒印刷・領収書作成代 会員名簿作成費	
	慶弔費支出		1,800,000	874,228	925,772	48.57	香典・花環（会員2名 家族10）祝い金（会員結婚0件 他団体8件）見舞金1件 会費8件 電報料	
	家賃支出		1,100,000	548,829	551,171	49.89	会館家賃（半年分）	
	事務所共益費支出		820,000	410,619	409,381	50.08	会館共益費（半年分）	
	機械借損費支出		2,250,000	712,741	1,537,259	31.68	車リース・保険料150,662 コピー機チャージ料12,519 コピー機リース料53,240 印刷機リース料289,520 印刷機保守料92,400 電話リース料58,080 他	
	雑支出		1,000,000	158,999	841,001	15.90	振込手数料21,615 貸金庫利用料15,180 会計ソフト使用料51,480 他	
	予備費支出	予備費支出		4,797,030	0	4,797,030	0.00	
事業活動支出計(B)			96,066,230	23,007,488	73,058,742	23.95		
①事業活動収支差額(A)-(B)			△ 9,865,230	282,973	△ 10,148,203	△ 2.87		

Ⅱ 投資活動収支の部

大科目	中科目	小科目	予算額	決算額	差異	率	備	考
(1) 投資活動収入			(単位：円)					
特定資産取崩収入 積立預金収入			4,000,000	0	4,000,000	0.00		
		運営資金積立資金取崩収入	4,000,000	0	4,000,000	0.00		
投資活動収入計 (C)			4,000,000	0	4,000,000	0.00		
(2) 投資活動支出								
特定資産取得支出 積立預金取得支出			4,500,000	0	4,500,000	0.00		
		運営資金積立預金取得支出	4,000,000	0	4,000,000	0.00		
		80周年積立預金取得支出	500,000	0	500,000	0.00		
		関ﾌﾞ茨城積立預金取得支出	0	0	0	0.00		
		災害積立金支出	0	0	0	0.00		
固定資産取得支出 什器備品購入支出			250,000	278,300	△ 28,300			
		什器備品購入支出	250,000	278,300	△ 28,300	111.32	シュレッダー・プロジェクター購入代	
投資活動支出計 (D)			4,750,000	278,300	4,471,700	5.86		
②投資活動収支差額 (C)-(D)			△ 750,000	△ 278,300	△ 471,700	37.11		

Ⅲ 財務活動収支の部

大科目	中科目	小科目	予算額	決算額	差異	率	備	考
(1) 財務活動収入			(単位：円)					
財務活動収入計 (E)			0	0	0			
(2) 財務活動支出								
財務活動支出計 (F)			0	0	0			
③投資活動収支差額 (E)-(F)			0	0	0			
④当期収支差額 ①+②+③			△ 10,615,230	4,673	△ 10,619,903		4月～7月分の収支差額	
⑤前期繰越収支差額			10,615,230	10,615,230	0	100.00	前期（令和7年度）からの繰越額	
次期繰越収支差額 ④+⑤			0	10,619,903	△ 10,619,903		8月への繰越額	

令和8年度 新入会員【正・準会員 21名 + 賛助会員 4社】

No	支部名	氏名	年齢	勤務先	紹介者	紹介者役職	備考
1	賛助会	(一社)茨城県建設業協会			柴 和伸	会長	関係団体
2	筑波	坂本 俊一	48	コンチネンタルホーム(株)	相澤 晴夫	副会長	社員
3	筑波	西村 拓也	44	コンチネンタルホーム(株)	相澤 晴夫	副会長	社員
4	筑波	春原 莉帆	30	コンチネンタルホーム(株)	相澤 晴夫	副会長	社員
5	賛助会	(株)孝建			久保田 吉文	常務理事	企業
6	筑波	石田 和子	50	(株)暖喜	松田 祐光	支部長	準会員
7	筑波	櫻井 謙司	41	(株)須藤設計	松田 祐光	支部長	所員
8	筑波	菱沼 大晃	25	(株)須藤設計	松田 祐光	支部長	所員
9	筑波	三井 健吾	39	(株)エム・スタイル	茂垣 直樹	情報委員会	再入会
10	筑波	三輪 光夫	70	(株)若柳建築事務所	若柳 綾子	ヘリテージ	所員
11	鹿島	平山真理子	42	Re'plus建築設計事務所	安藤 秀浩	鹿島支部会員	所員
12	結城	高松 米海	21	小貫建設(株)	小貫 勝重	元支部長	社員
13	久慈	大内 裕貴	50	大木建設(株)	和田 昭一	元会員(上司)	所員
14	日立	白土 里子	42	(株)安心確認検査機構	石黒 洋子	総務委員会	所員
15	日立	大高 正裕	48	日立市役所	日立市役所	遠田先輩	職員
16	ひたちなか	岩田 隆之	55	(株)IWARC	川又 晴彦	支部長	所員
17	県央	福元結城子	46	(有)高槻建築設計事務所	高槻 一雄	副会長	所員
18	県央	田村 涼子	47	安心確認検査機構	響田 久恵	女性委員長	職員
19	県央	米川 潤也	27	鈴縫工業(株)	和田 淳一	会員委員会	社員
20	県央	清水 碩斗	35	清水建設(株)	清水 洋一	会員委員会	準会員
21	県央	佐藤 朋子	57	T' Design	再入会		再入会
22	石岡	福島 典昭	55	(株)福島工務店	吉田 良一	元青年部長	社員
23	北相馬	山田 正敏	60	コウキ建設	根本 博行	会員(上司)	社員
24	賛助会	(株)大貫測量設計			賛助会 代表幹事	若林 様	企業
25	賛助会	(株)ティーエムユニオン			賛助会 代表幹事	若林 様	企業

令和7年度 新入会員の一覧【正会員 23名 + 賛助会員 9社】

No	支部名	氏名	年齢	勤務先	紹介者	紹介者の役職	備考
1	県庁	荘司 泰久	62	(一財)茨城県建築セン	柴 和伸	会長	社員
2	賛助会	茨城県鐵橋工業協同組合			柴 和伸	会長	関係団体
3	賛助会	茨城県塗装工業組合			柴 和伸	会長	関係団体
4	賛助会	(公社)日本建築家協会 関東甲信越支部 茨城地域会			柴 和伸	会長	関係団体
5	筑波	竹田 陽市	51	(株)相澤建築設計事務所	相澤 晴夫	副会長	所員
6	筑波	山形 郁夫	48	(株)相澤建築設計事務所	相澤 晴夫	副会長	所員
7	筑波	矢口 重文	57	茨城セキスイハイム(株)	相澤 晴夫	副会長	社員
8	筑波	長瀬 光昭	53	茨城セキスイハイム(株)	相澤 晴夫	副会長	社員
9	筑波	松本 浩司	51	坂東市役所	相澤 晴夫	副会長	職員
10	筑西	山中 陽子	59	(有)アーキテック	中山 和朗	常務理事	知人
11	県央	高島 浩司	57	(株)戸塚建築設計事務所	小川 憲一	総務委員長	所員
12	県央	櫻井 郁美	44	SaCRAFT建築設計事務	石黒 洋子	総務委員	知人
13	県央	関 勇太	43	KITAI建築設計事務所	石井 邦明	研修委員	知人
14	県央	四ツ倉 昌佳	46	鈴縫工業(株)	和田 淳一	会員委員会	社員
15	県央	平戸 豊	59	(株)石川建築研究所	石川 啓司	支部常務	所員
16	県央	大橋 美幸	63	果実建築設計室	滑川 浩一	相談役	取引事務所
17	県庁	萩元 悠文	46	(株)安心確認検査機構	舞木 善郎	安心確認の役員	社員
18	鹿島	久米 健一	45	(株)高正建設	高橋 文男	まちづくり委員	社員
19	石岡	古木 いずみ	47	古木建設	三輪 清司	支部長	取引会社
20	石岡	小田 邦江	54	(有)ナオエ総合設計	菊池 直衛	元副支部長	所員
21	土浦	井坂 公一	69	(株)ナオエ総合設計	永井 昭夫	支部長	知人
22	土浦	児玉 理文	35	あや設計一級建築士事	石坂 健一	元支部長	取引事務所
23	筑波	戸塚 かおり	56	(株)安心確認検査機構	若柳 綾子	ヘリテージ	取引事務所
24	筑波	加藤 侑	42	(株)若柳建築事務所	若柳 綾子	ヘリテージ	所員
25	日立	櫻岡 佳太	40	(株)白土工務店	先輩と交代	先輩	社員
26	竜ヶ崎	柳町 龍哉	30	(株)柳建設	先輩と交代	先輩	社員
27	賛助会	コマツ茨城(株)			会員委員会	清水 洋一様	企業
28	賛助会	(株)タナカ 住宅資材部門 茨城支店			潮田 充様 (元常務理事・元支部長)		企業
29	賛助会	(株)テクニティ			賛助会 代表幹事	若林様	企業
30	賛助会	(株)関川屋店			賛助会 代表幹事	若林様	企業
31	賛助会	昭和工機(株)			設備設計協会の会員		企業
32	賛助会	宇賀神電機(株)茨城営業所			設備設計協会の会員		企業

賛助会員の内、主な団体・学校など(御参考)

No	過去 入会 済み	R6年度～ 入会案内 ㊦ 済み ㊦	状況
1	(一財)茨城県建設技術公社	(一社)茨城県建設業協会	入会済み
2	(一財)茨城県建築センター	(公社)日本建築家協会茨城地域会	入会済み
3	(一社)損害鑑定支援協会	(一社)茨城県解体工事業協会	入会済み
4	茨城県板金工業組合	茨城県塗装工業組合	入会済み
5	茨城県鉄筋業協同組合	茨城県鐵構工業協同組合	入会済み
6	茨城県林業種苗協同組合	(一社)茨城県建築士事務所協会	
7	茨城県瓦工事業組合	(一社)日本建築学会 茨城支所	
8	茨城県木材協同組合連合会	(一社)茨城県設備設計事務所協会	
9	茨城県ガス協会	(一社)茨城県空調衛生工事業協会	
10	筑波研究学園専門学校	(一社)茨城県貯水槽維持管理協会	
11	文化デザイナー学院	(一社)茨城県電設業協会	
12	水戸日建工科専門学校	(公社)茨城県水質保全協会	
13	日建学院	(公社)茨城県測量建設コンサルタント協会	
14	総合資格学院	(公社)茨城県宅地建物業取引協会	
		(一社)日本建築構造技術者協会 茨城	

会員数の増減 比較（H10年と、R8年7月の比較）

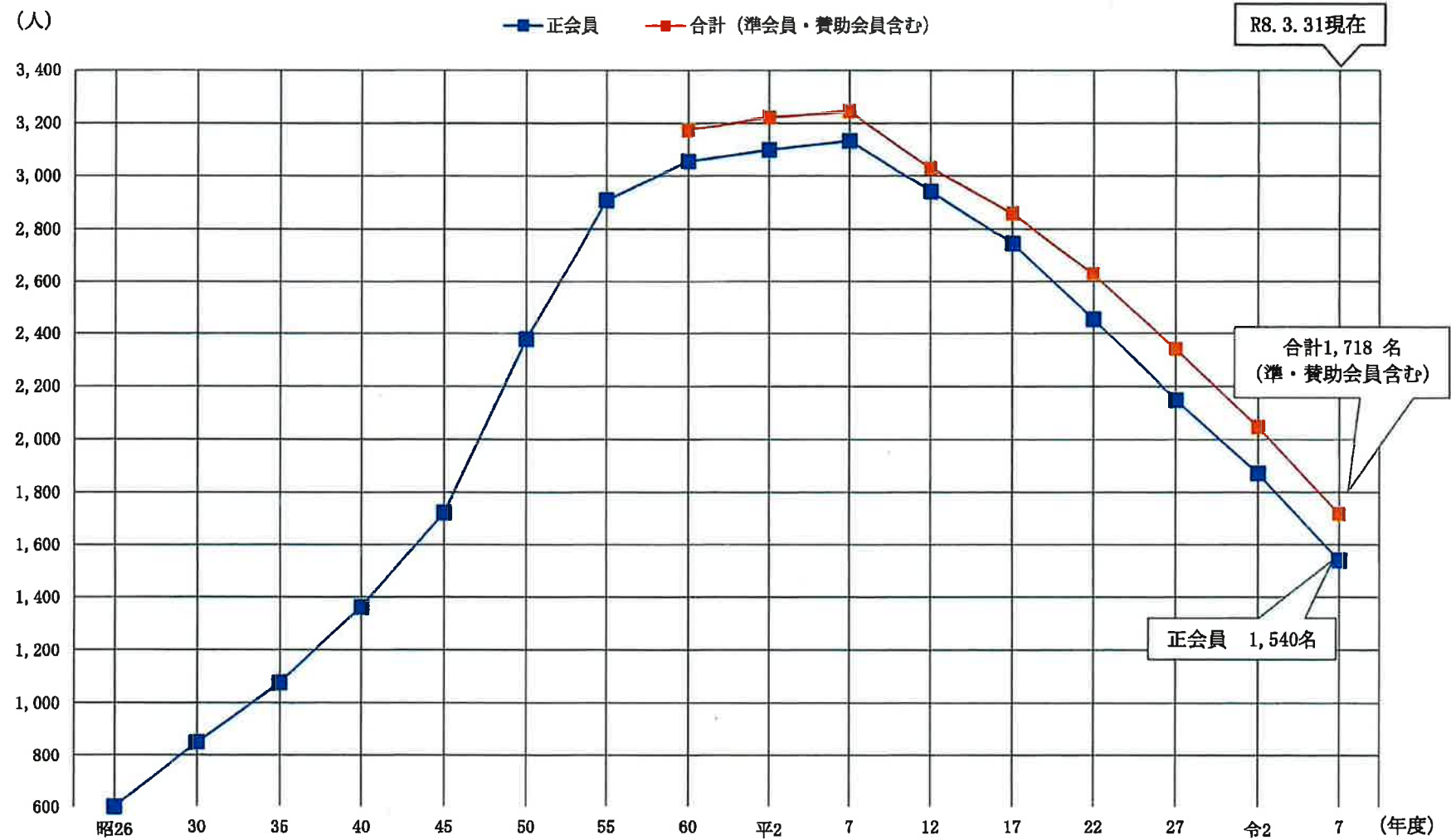
会員数					
順位	士会名	H10年末	士会名	支部数	R8年7月
1	東京	8,510	東京	12	4,210
2	北海道	7,843	北海道	34	3,208
3	愛知	7,350	愛知	21	2,910
4	大阪	7,005	大阪	—	2,040
5	長野	4,545	神奈川	9	1,932
6	神奈川	4,220	福岡	14	1,915
7	新潟	3,943	長野	14	1,807
8	福島	3,534	鹿児島	13	1,600
9	山口	3,500	茨城	23	1,558
10	兵庫	3,364	広島	7	1,540
11	広島	3,280	山口	13	1,467
12	千葉	3,268	千葉	21	1,458
13	静岡	3,214	新潟	15	1,370
14	群馬	3,208	愛媛	10	1,340
15	茨城	3,185	和歌山	9	1,180
16	福岡	3,175	香川	5	1,170
17	鹿児島	2,964	兵庫	14	1,167
18	岩手	2,752	岩手	13	1,143
19	富山	2,660	埼玉	14	1,133
20	宮城	2,620	福島	17	1,123
21	秋田	2,463	熊本	13	1,120
22	愛媛	2,462	石川	11	1,099
23	京都	2,426	岡山	11	1,076
24	岡山	2,400	島根	11	1,070
25	熊本	2,380	京都	8	1,083
26	埼玉	2,370	栃木	12	1,035
27	栃木	2,307	群馬	12	1,036
28	石川	2,248	大分	14	999
29	香川	2,105	富山	8	986
30	徳島	2,074	静岡	不明	985
31	大分	2,042	秋田	8	885
32	宮崎	2,024	徳島	9	869
33	長崎	1,999	山梨	10	845
34	岐阜	1,940	長崎	10	842
35	島根	1,900	佐賀	11	852
36	青森	1,729	岐阜	8	823
37	福井	1,710	宮崎	10	832
38	鳥取	1,627	青森	10	811
39	山形	1,593	沖縄	15	792
40	奈良	1,571	高知	14	785
41	滋賀	1,557	福井	8	766
42	山梨	1,521	山形	9	768
43	三重	1,482	三重	10	670
44	和歌山	1,465	滋賀	8	631
45	高知	1,411	宮城	14	603
46	佐賀	1,376	奈良	10	625
47	沖縄	1,060	鳥取	3	570
合計		135,382			58,729

建築士数					
順位	士会名	合計 建築士 計	H27.3月 一級	R6.5月	
				二級	木造
1	東京都	164,148	71,116	92,389	643
2	大阪府	90,869	30,787	59,318	764
3	神奈川県	67,886	29,432	37,948	506
4	愛知県	62,094	20,474	40,132	1,488
5	埼玉県	54,064	19,089	34,629	346
6	北海道	51,642	12,457	38,560	625
7	兵庫県	49,879	16,629	32,538	712
8	福岡県	46,376	14,036	31,939	401
9	千葉県	42,812	17,201	25,149	462
10	京都府	32,380	7,469	21,236	3,675
11	静岡県	30,752	7,993	22,119	640
12	広島県	29,032	9,584	18,946	502
13	新潟県	25,565	5,251	19,720	594
14	宮城県	21,646	5,765	15,349	532
15	長野県	20,780	4,796	15,518	466
16	茨城県	19,907	4,724	14,929	254
17	群馬県	17,466	4,192	12,984	290
18	福島県	16,943	3,001	13,716	226
19	岐阜県	16,610	4,582	11,577	451
20	岡山県	16,334	3,861	12,380	93
21	熊本県	14,920	3,488	11,137	295
22	石川県	14,645	3,381	10,951	313
23	山口県	14,059	3,525	10,342	192
24	滋賀県	13,328	3,073	9,825	430
25	富山県	13,144	2,747	10,012	385
26	栃木県	13,139	3,136	9,875	128
27	三重県	13,086	3,449	9,248	389
28	愛媛県	12,707	2,827	9,738	142
29	山形県	12,410	2,012	10,218	180
30	鹿児島県	11,993	3,168	8,603	222
31	奈良県	11,965	3,807	7,854	304
32	秋田県	11,550	1,665	9,662	223
33	香川県	11,356	2,826	8,381	149
34	岩手県	11,243	2,016	9,061	166
35	長崎県	11,124	2,392	8,493	239
36	大分県	10,926	2,739	8,083	104
37	宮崎県	10,831	2,354	8,170	307
38	福井県	10,335	2,303	7,926	106
39	青森県	10,162	1,908	8,048	206
40	沖縄県	8,844	2,255	6,581	8
41	徳島県	8,652	1,772	6,802	78
42	和歌山県	8,263	1,830	6,328	105
43	島根県	8,162	1,818	6,106	238
44	高知県	7,500	1,482	5,931	87
45	山梨県	7,159	1,601	5,490	68
46	佐賀県	6,741	1,594	5,009	138
47	鳥取県	5,671	1,276	4,262	133
合計		1,171,100	358,883	793,212	19,005

R7.4月	383,923
H27.3月より	+ 25,040
R7.4月合計 1,196,140 ← 約 120万人	

		平成9年3月31日		令和7年10月15日		令和8年5月7日			
級別	一 級	1,203	37.5%	1,017	62.4%	993	62.7%		
	二 級	1,867	58.1%	570	34.9%	549	34.7%		
	木 造	55	1.7%	7	0.4%	7	0.4%		
	その他	87	2.7%	37	0.1%	35	0.1%		
計		3,212	100.0%	1,631	100%	1,584	100%		
		平成9年3月31日		令和7年10月15日		令和8年5月7日			
年齢別	20歳代	194	6.0%	11	0.7%	11	0.7%		
	30歳代	598	18.6%	52	3.2%	48	3.0%		
	40歳代	1,144	35.6%	276	16.9%	259	16.4%		
	50歳代	776	24.2%	423	25.9%	437	27.6%	内、50才～54才	233名（53.3%）
	60歳以上	500	15.6%	869	53.3%	829	52.3%		
計		3,212	100.0%	1,631	100%	1,584	100%		
		女性 151名 9.2%		女性 148名 9.3%					
		60歳台・・・454名（27.8%）		60歳台・・・410名（25.9%）		内、60才～64才	192名（46.8%）		
		60歳以上のうち、 70歳台・・・362名（22.2%）		60歳以上のうち、 70歳台・・・368名（23.2%）		内、70才～74才	218名（59.2%）		
		80歳台・・・50名（+9名）		80歳台・・・47名（▲3名）		内、80才～84才	33名（48.9%）		
		90歳台・・・2名（±0名）		90歳台・・・4名（±2名）					

会 員 推 移 (5年きざみ) 令和8年3月31日現在まで



チャットGPTの要約

会議要約

1. 会員増強の基本方針

人口減少・少子化による会員減少は避けられないため、それを前提に対策を考える。

「いきなり入会」ではなく、**交流・勉強会・見学会などを通じて関係人口を増やし、自然な入会につなげる。**
若手だけでなく、退会防止の観点から**シニア会員とのつながりづくり**も重要。

2. 入会メリットの明確化

最大のメリットは、**人間関係・横のつながり。**

仕事につながる交流、資格・CPD等の情報、講演会・勉強会、見学会など、具体的なメリットを分かりやすく発信する。

会員の成功事例や「入会して良かったこと」を紹介する。

大工等の職人や施工管理技士など、**準会員→資格取得→正会員**という段階的な入会も検討。

3. 若手・女性・学生へのアプローチ

青年会員の支部会費半額など、入会しやすい制度を検討。

20代女性へのヒアリングなど、対象者の視点で魅力的な企画を考える。

女性会員から着付けなどを教わる企画のように、「**参加したい**」と思える**具体的なメリット**をつくる。

学生の就職志向が設計事務所からゼネコン・ハウスメーカーへ変化していることも踏まえる。

4. 情報発信・勧誘方法

Facebook・Instagram等を活用し、活動の「見える化」を進める。

講演会など非会員が参加する場にポスターを掲示し、士会への心理的ハードルを下げる。

会員紹介カードや会員メリットのページを整備する。

個人情報の制約があるため、ネット検索やSNSなど公開情報を活用した勧誘方法も検討。

5. 組織・制度面の課題

会費が県内で高いことから、家族会員や青年会員の負担軽減を検討。

会員数の少ない支部は、**支部合併やネット支部**など組織再編も視野に入れる。

支部・委員会それぞれができる会員増強策を整理する。

今後の方向性

「**会員を増やす**」だけでなく、「**人と人がつながり、仕事・学び・交流の機会が生まれる場をつくる**」ことが重要。

まずは勉強会・交流会・講演会などの魅力的な企画を積み重ね、参加→交流→信頼関係→入会という流れをつくることを目指す。

また、今回の会議では自由闊達な意見が多く出されたため、**具体的な施策を検討するためにも次回開催を検討すること**で終了した。

R8. 8. 7 正・副委員長会議の意見要旨

先輩から入れ!と、言われて入ってみて今常務理事。横のつながりが増えたメリット

若い人が入会しやすい環境づくり ➡ 青年は、支部会費のみ半額(案)を検討中

若い人はすぐメリットが無いと言う ➡ メリットがあれば入りたいと。

建築家の講演会はメリットと言う

非会員でも1,000円払えば参加できちゃう

会社で会費払うのは、違うと思う

職人会(大工等の職人) ➡ まず準会員 ➡ 資格取ったら正会員

交付式、合格祝賀会 ➡ 今は開催していない

準会員 ➡ 施工管理技士とかへ ➡ 入会アクション

組織の再編も ➡ 支部、委員会などの活動メリット(横のつながり)

会員の紹介カードの作成・リストアップ(個人情報教わる)

士会のメリット頁を教える ➡ 成功体験も伝える

150名を越したが退会者もいる為、根性で勧誘を怒っている

F.Bも発信して、活動している感じは、出せている

会費が県内で一番高いので、家族会員は約半額位にしている

支部として出来る事、委員会として出来る事。

判定士は会員じゃないと連絡すらいかない=活動もできない

会員にならないと声も掛からない

JIA+士会=ジャパンアーキテクト 仕事のメリット等

CPD+登録建築課(専攻建築士)=要件 会員になれば情報入る

士会は、大工や建設業のすそ野を広げられる

所員で見学会に参加したい=引っ掛かりになる

いきなり会員 ✕ ➡ その人にとって同じ関係の人の交流 ➡ サポート体制

どこに資格者が居るかわからないから勧誘できない ➡ 個人情報 ✕

ネット検索で調べられる。筑波支部のFB等は良い

設計者は少なくゼネコンが多い。人口減少でネット支部も検討

県士会の話をすると方向性が無い。ヘリテージも仕事がない

県央支部の青年会員半額は興味はあるが、、、。

全体的に会員の少ない支部は合併するしかない

学生は設計事務所を求めている ➡ ゼネコンや、ハウスメーカーを希望

準会員を勧誘して関係人口を増やす作戦

青年よりもシニアが大事。既に支部で実施。県レベルでやる方法!!

達人塾の勉強会を実施し、少しでも仕事が取れる・変われる制度を!!

人口減少と少子化で会員減少は必須。止まらない。そこを前提とした方策を!!!

人間関係 + 横のつながり = 最大のメリット

そのメリットを会費が高いと感じるか？、安いと感じるか？個人差が有る

インスタで活動PRは良いキッカケづくりになると思う

講演会で勧誘出来たら良い⇒会場にポスターを貼る⇒士会のハードルを下げる
会員増強は、**シニア会**などにより退会を減らす事は素敵だと思う

家庭に埋もれる建築士を発掘することが大事

スキマの仕事 = **横のつながり** ⇒ 全建女で長野の人の話:座談会～仕事もらう等
インスタ等を利用して、**デジタル会員等**新しい政策を

20代の女の子にヒアリング ⇒ 視覚に訴えるものが無いと駄目

着物が一人で切れる建築士」⇒勉強会を先輩の女性会員に教わる企画=メリット
そういった**メリット企画**を積み重ねる⇒仲良くなって⇒それから勧誘する戦略
色んな良い自由闊達な意見が出た。時間の都合で終わるが次回の開催も検討したい

R8. 8. 7 総務委員会の意見

初めてハードル上げて出席させて頂いた。

出席しやすい環境が良い。緊張しすぎて真っ白。

調べたときに活動が何が出来るか？、分かりづらい。

相談できるのか？ ⇒ それが感覚的(直観的)に分からない

入会してからわかることが多い ⇒ お試し会員があると良い

インスタ等は見ているが、 F・Bは、見していない

エックスや、YouTube は、見ている。ユーチューバー必要？

入社してから数年後に所長に言われて入会した。今も良くはわからない。これから

青年も本業があって委員会している。その道のプロに頼むと良い。

情報と広報と分けて情報発信すべき。会員向けと、一般向けと分けると良い。



ノート...



ibaraki_kenchikushikai

茨城県建築士会

投稿32件 フォロワー531人 フォロー中516人

1951年創立。今年 76年目を迎えます。建築士の皆様にはぜひ一緒に会員として活動・活躍をして頂き、地域支部の皆様と一緒に様々な活動を通して茨城地域ならびに全国の建築士(会・界)に貢献し、100周年を目指して更なる高みへと精進して参ります！

i-shikai.com



プロフィールを編集

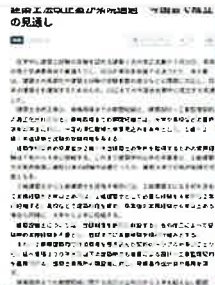
アーカイブを表示



新規



リール動画を
宣伝



メッセージ



R 7年 10月3日→R8.6.22・・全国インスタ設置状況

No	都道府県名	士会数	県・支部・委員会	6月22日 投稿数	6月22日 フォロー数	6月22日 フォロー数
1	北海道	1	女性委員会	50	271	204
2			青年委員会	2	106	123
3	福島	2	郡山支部	66	135	97
4			田島支部青年	36	79	6
5	東京	3	青年委員会	110	132	62
6			環境委員会	15	363	474
7	千葉	4	鎌ヶ谷支部	9	132	111
8			夷隅支部	26	222	185
9			銚子支部青年	63	84	41
10	埼玉	5	大里支部地域委員会	208	152	48
11	神奈川	6	川崎支部	61	212	153
12			県	65	364	393
13			コトナ建築部会	113	259	195
14			女性委員会	40	176	109
15			交流活動委員会	13	109	60
16	山梨	7	青年部会	13	101	8
17	長野	8	安曇野支部	85	180	172
18			埴科支部	13	72	10
19	新潟	9	県	166	405	118
20			新潟支部	84	318	13
21			上越支部	3	28	23
22	石川	10	青年委員会	19	88	48
23	三重	11	青年委員会	4	69	3
24			女性性会			
25	愛知	12	県	311	901	1486
26			青年委員会	167	639	737
27			蒲郡支部	183	105	6
28			豊田支部青年委員会	23	75	84
29			学生会	32	260	270
30	滋賀	13	青年委員会	64	124	30
31	京都	14	青年部会	142	299	59
32	京都		団地再生研究会	5	115	36
33	京都		70周年実行委員会	12	71	68
34	大阪	15	青年委員会	9	131	37
35	兵庫	16	阪神支部青年委員会	7	68	2
36	兵庫		阪神支部-1			
37	兵庫		阪神支部-2	31	130	66
38	兵庫		加古川支部青年委員会	10	98	70
39	奈良	17	青年部	43	296	158
40	奈良		女性委員会	49	269	284
41	和歌山	18	青年委員会	4	120	60
42	和歌山		女性委員会	14	107	98
43	島根	19	県	27	52	11
44	島根		益田支部女性委員会	156	297	464
45	広島	20	青年委員会	92	246	123
46	山口	21	女性部	31	155	47
47			青年部	4	77	87
48	徳島	22	県	88	413	105
49	香川	23	高松支部青年部	19	167	32
50	熊本	24	県	18	69	14
51	大分	25	大分支部青年部	65	233	105
52	宮崎	26	宮崎支部	57	261	193
53			宮崎支部青年部	21	279	19
54			串間支部	19	182	143
55			都城支部青年女性部	47	155	44
56	鹿児島	27	青年部会	17	237	248
57	岡山	28	R8.3/4～倉敷支部	22	90	93
58	茨城	29	4/22～県	29	488	436
59			R8.6/2～筑波支部	7	18	10
60	栃木	30	6/5～県	2	26	4
61	岐阜	31	R4.6～青年委員会	47	191	179
62	---	---	助川（個人）	108	1,658	6,877

← 1 位

← 2 位

← 3 位

茨城県建築士会 令和8年度（第75回）通常総会

◆日 時 令和8年5月29日（金）午後 3時 ～ 4時15分 まで（目標）

◆場 所 ホテル レイクビュー水戸 2階 飛天

司会 I T企画 桐原

総会成立要件・・・正会員 1,549 名の 5 分の 1 = 310 名 出席 166 名 + 委任状 188 名 = 354 名

議決要件・・・委任状を含む出席者 354 名の 2 分の 1 = 177 名（定款第 18 条及び 19 条）

15:00 開 会（武村副会長）黙 祷（相澤副会長）・・・物故者は、9名

15:03 会長あいさつ（マイク係＝ホテルマン）

15:08 表 彰（会員増加表彰支部 3 支部＋個人 1 名、功労者表彰 12 名）（賞状渡す係り石黒洋子さん）

15:13 来賓祝辞・祝電披露（来賓 8 名×3 分＝24 分と、祝電 3 通予想＝3 分）

15:40 …… 来賓退席 ……（来賓の退席 誘導係り・・・総務スタッフ）

15:42 議長＝会長・議事録署名人の選出（2 名 青木昌弘さん、藤田康広さん）

…… 議長一任（潮田・早川委員）……………

15:43 議事審議（議長は、柴会長）

…… 異議なし（潮田・早川・藤田委員）⇒ 他の総務委員も異議なしコール……

15:44 (1) 議案第 1 号 令和 7 年度事業報告について（梅原常務理事）

15:49 (2) 議案第 2 号 令和 7 年度収支決算について（中山常務理事）

会計監査報告（大内監事）

15:54 (3) 議案第 3 号 令和 8 年度事業計画（案）について（久保田常務理事）

15:56 (4) 議案第 4 号 令和 8 年度収支予算（案）について（鈴木常務理事）

16:00 (5) 議案第 5 号 理事・監事の改選について（益子常務理事）

（一旦休憩し、正・副会長、常務理事の互選 ➡ その後、新役員の発表（横須賀委員長））

16:15 閉 会（新 ●◎副会長）（スムーズな進行の場合は、16 時 15 分頃に終了見込み）

（会場設営のどんてん、約 15 分間の休憩）※ 総務委員会スタッフは、受付で名札配り

16:30 懇親会（他の総務スタッフは、懇親会の案内・誘導アナウンスすること）

※ 懇親会係りは、司会者と連携し、コンパニオンへの配置指示や、来賓と主催者を前席テーブルへの誘導をしてください。また、会員は後席へ溜まってしまうので、前席テーブルへ誘導してください

18:15 閉会：（新 ◎●常務理事）

令和8年度 第75回通常総会の来賓者リスト(案)

	職 名	氏 名	代理出席者	総会	懇親会	
1	茨城県知事	大井川 和彦		○	×	オオイガワ カズヒコ
2	衆議院議員	田所 嘉徳	ヒシヨ 秘書 ナカガワ タイチ 中川 太一	○	○	タドコロ ヨシノリ
3	水戸市長	高橋 靖		×	○	タカハシ ヤスシ
4	茨城県議会議長	舘 静馬		×	○	タチ シズマ
5	茨城県議会議員	白田 信夫		○	○	ハクタ ノブオ
6	茨城県議会議員	伊沢 勝徳		○	×	イザワ カツノリ
7	茨城県議会議員	木本 信太郎		×	○	キモト シンタロウ
8	茨城県議会議員	塚本 一也		○	○	ツカモト カズヤ
9	茨城県土木部都市局建築指導課長	中島 三博		○	○	ナカジマ ミツヒロ
10	茨城県土木部営繕課長	小林 律之		○	○	コバヤシ ノリユキ
11	茨城県土木部都市局住宅課長	和田 壽也		○	○	ワダ カズヤ
12	(一社)茨城県建設業協会 会長	石津 健光		○	○	イシツ タケミツ
13	(一財)茨城県建築センター 理事長	足立 信幸		○	○	アダチ ノブユキ
14	(一社)茨城県建築士事務所協会 会長	河野 正博		○	○	コウノ マサヒロ
15	(一社)茨城県設備設計事務所協会 会長	菊地 繁		○	○	キクチ シゲル
16	(一社)日本建築学会関東支部 茨城支所長	長塚 威		○	○	ナガツカ タケシ
17	(公社)日本建築家協会関東甲信越支部 茨城地域会長	本澤 幸一		○	○	ホンザワ コウイチ

令和8年度 通常総会座席順

常務理事 鈴木啓之 様	常務理事 久保田吉文 様	常務理事 中山和朗 様	常務理事 梅原郁夫 様	監事 大内賢一 様
-------------------	--------------------	-------------------	-------------------	-----------------

中川 太一	田所嘉徳衆議院議員秘書	建築セクター理事長	足立 信幸	建築家協会茨城地域会長 本澤 幸一	建築学会茨城支所長 長塚 威	設備設計事務所協会会長 菊地 繁	事務所協会会長 河野 正博	住宅課長 和田 壽也
-------	-------------	-----------	-------	----------------------	-------------------	---------------------	------------------	---------------

柴会長 和伸 様	武村 副会長 実 様	高槻 副会長 一雄 様	相澤 副会長 晴夫 様	常務理事 益子 一彦 様
-------------	---------------	----------------	----------------	-----------------

菅 繕 課 長 小 林 律 之 様	建 築 指 導 課 長 中 島 三 博 様	茨 城 県 建 設 業 協 會 會 長 石 津 健 光 様	茨 城 県 議 會 議 員 塚 本 一 也 様	茨 城 県 議 會 議 員 伊 沢 勝 徳 様	茨 城 県 議 會 議 員 白 田 信 夫 様	茨 城 県 知 事 大 井 川 和 彦 様
-------------------------	--------------------------	----------------------------------	----------------------------	----------------------------	----------------------------	--------------------------

司会席

壇上
(議長席)

主催者席

來賓者席

一般客席

[illegible]

前列(功劳者表彰)

令和8年度通常総会 収支計算書

日時…令和8年5月29日（金）

場所…ホテルレイクビュー水戸

収入の部>>

科目：事業収入

科目	内訳	予算額	決算額
懇親会費	6,000円×140名 ・ 4,000円×17名	1,020,000	908,000
お祝い金	7名	50,000	70,000
スタッフ反省会費	9名		9,000
	合計	1,070,000	987,000

※ 出席者数…総会208名 懇親会160名

支出の部>>

科目：総会費

支払先	科目	内訳	予算額	決算額
ホテルレイクビュー水戸				1,361,573
	総会・懇親会	室料（2階飛天・紫峰）		68,518
	"	室料（来賓控室）		28,760
	"	備品利用料		21,296
	"	演台用生花		15,000
	"	看板代（ステージ用）		36,300
	"	お食事代		746,020
	"	飲み物代		271,199
	"	会場内装花		60,000
	"	駐車料金（コンパニオン）		2,100
	来賓手土産	22個（記者手土産も含む）		66,000
	その他	スタッフ昼食代		46,380
桐原 佳美	司会料			25,000
レインボーエンタープライズ	コンパニオン	9名分		99,000
ささき	コンパニオン	8名分		96,800
あけぼの印刷	資料作成費	議案書300部		177,210
センター印刷	賞状筆耕料	功労者賞状 ・ 会員増加賞状		26,400
京成百貨店				190,024
	食パン代	出席者全員 @410円×260斤		106,600
	記念品	功労者等@6,930円×12個		83,160
		袋代@22×12枚		264
その他				58,883
郵便局	通信費	案内発送料		990
その他	備品	A3賞状購入・賞状筒 等		22,073
		スタッフ反省会費		35,820
		合計	2,200,000	2,034,890

収支>>

	予算額	決算額
収 入	1,070,000	987,000
支 出	2,200,000	2,034,890
差し引き	△ 1,130,000	△ 1,047,890

通常総会の変遷

回数	とき		ところ	参加 人数	総会	懇親会等			収支の状況			備考
					ご来賓	一般	正会員	賛助会員	収入	支出	収支差額	
第73回	R8.5.29	金	レイクビュー水戸	208	18	160	101	59	987,000	2,034,890	△ 1,047,890	前年より赤字額が、7.9万円減った
第74回	R7.5.30	金	レイクビュー水戸	211	16	152	96	56	936,000	2,063,694	△ 1,127,694	前年より赤字額が、4.4万円減った
第73回	R6.5.31	火	レイクビュー水戸	220	15	156	97	59	990,000	2,161,482	△ 1,171,482	前年より赤字額が、91万円も減った
第72回	R5.5.30	火	水戸プラザホテル	274	15	204	138	66	1,006,000	3,088,561	△ 2,082,561	CPDキャッシュバック500円×20名 = 10,000円の補助済み
第71回	R4.5.27	金	水戸プラザホテル	152	6	145			130,000	1,859,442	△ 1,729,442	講演会145名。講師謝礼は少なかったが会場費が高かった
第70回	R3.5.28	金	水戸プラザホテル	131	0	0			0	938,000	△ 938,000	コロナ禍 130名 プラザホテルは高い
第69回	R2.5.29	金	水戸プラザホテル	49	0	0			0	388,197	△ 388,197	コロナ禍で役員49名のみプラザ1部屋



令和8年度 通常総会開催される

令和8年5月29日(金) 午後3時
ホテルレイクビュー水戸
報告：総務・企画委員会

令和8年度の通常総会（第75回）が5月29日（金）ホテルレイクビュー水戸において開催された。開会に先立ち、出席者と委任状提出者を合わせ343名となり、定足数に達していることが司会者より報告され、武村副会長による開会のことばで通常総会が始まった。最初に令和7年度中に亡くなられた県央支部木村利氏他8名に対し黙祷が捧げられた。柴会長からの挨拶。続いて会員増加表彰が贈られ、優良支部として筑波支部、県庁支部、石岡支部へ、優良者（会員個人）として筑波支部相澤晴夫氏へ、また長年にわたり本会発展にご尽力頂いた鹿島支部内芝良吉氏他11名に功労者表彰として記念品を添え表彰状が贈られた。来賓挨拶・紹介、祝電披露の後、柴会長を議長とし議事に入り、令和7年度事業報告と収支決算、令和8年度事業計画（案）と収支予算（案）、理事・監事の改選についての5議案を審議し、すべて原案通り全会一致で可決され、最後に益子新副会長の閉会のことばにより閉会となった。

・令和7年度における会員物故者（9名）

□物故者（令和7年4月1日～令和8年3月31日）

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

県央支部	木村 利	筑西支部	一本杉文男
県央支部	埴 秀之	筑西支部	廣瀬 茂
鉾田支部	二川 映一	坂東支部	増田 和夫
古河さしま支部	岡本 豊	土浦支部	池田 有宏
桜川支部	比企 正信		

敬称略

・令和8年度 表彰者一覧

(1)会員増加優良支部（正会員1名以上）

石岡支部 県庁支部 筑波支部

(2)会員増加優良表彰（個人の部 正会員3名以上）

相澤 晴夫（正会員5名）

(3)功労者表彰（12名）

久慈支部	岩瀬由美子	木村 武仁
	丸山 光一	
ひたちなか支部	高橋 琢	
鹿島支部	内芝 良吉	
県央支部	渡辺 章夫	
県庁支部	中村 清次	前川 秀夫
	松井 孝雄	
筑西支部	飯泉 安規	齋藤 智裕
稲敷支部	児玉 欽司	



大井川 和彦
茨城県知事



白田 信夫
茨城県議会議員
(本会顧問)



伊沢 勝徳
茨城県議会議員
(本会顧問)



塚本 一也
茨城県議会議員
(筑波支部会員)



益子 一彦
新副会長



小川 憲一
新常務理事



令和8・9年度新役員一覧

顧問	田所嘉徳	衆議院議員	中島三博	県庁建築指導課
	高橋靖	水戸市長	金子雅代	雅建築設計事務所
	白田信夫	茨城県議会議員	桐原栄	桐原建築
	伊沢勝徳	茨城県議会議員	小林澄夫	繁建築設計事務所
相談役	松山恒男	多賀土木(株)	飯島洋省	(株)andHAND建築設計事務所
	滑川浩一	(株)安心確認検査機構	軽部守彦	軽部建築設計事務所
	武村実	武村建築設計事務所	栗原力男	(株)栗原建設
	高槻一雄	(有)高槻建築設計事務所	野本平晴	設計工房OH2
会長	柴和伸	(株)柴建築設計事務所	大島則之	(株)大島一級建築士事務所
副会長	相澤晴夫	(株)相澤建築設計事務	新田孝司	(株)新田工務店
	益子一彦	(株)三上建築事務所	広瀬祐一	取手市役所
常務理事	久保田吉文	(有)クボタ建築設計事務所	松田祐光	(株)生空感
	中山和朗	(株)中山工務店	塚本美明	(株)ジュン設計
	梅原郁夫	梅原材木店	成田孝成	(株)幸田
	鈴木啓之	(有)アップル建築設計事務所	谷亮介	谷亮介構造設計室
	小川憲一	(株)戸頃建築設計事務所	響田久恵	(株)榮建築設計事務所
理事	村山潤一	(有)村山住宅	監事 大内賢一	(株)第一設計
	渡辺聡	フロムゼロ建築デザイン室	小室晶	(有)汎連合設計
	石川宏	高萩市役所	足立信幸	(一財)茨城県建築センター
	山田博則	(株)第一設計	水口二良	水口・野村法律事務所
	内芝良吉			



「併催行事の 懇親会が開催される」

令和8年度通常総会の後、ホテルレイクビュー水戸2階の飛天にて、併催行事として懇親会が開催された。各支部からも多くの会員そして賛助会員が出席し、来賓と合わせ180名が一堂に会した。柴会長の主催者挨拶、茨城県土木部都市局建築指導課中島課長による乾杯の発声で歓談に入った。懇親会では、日頃の仕事や趣味の話を交わし談笑する姿が会場を埋め尽くした。楽しい時間もあっという間に経過し、若林代表幹事より中締めが行われ、小川新常務理事の閉会のことばにより懇親会の席が閉じられた。



田所 嘉徳
衆議院議員
(本会顧問)



高橋 靖
水戸市長
(本会顧問)



館 静間
茨城県議会議長



木本 信太郎
茨城県議会議員
(本会賛助会員)



石津 健光
茨城県建設業協会会長
(関連団体)



令和8年度 合同大納涼会 【2026.7.6 現在】協会 82+士会 135 ▲21名= 196名

日時 令和8年7月10日（金）午後5時から（受付 16:20～） スタッフは 15時30分集合

場所 ホテル アスザ ガーデン水戸 コンパニオン16名（うさぎ7名（ホテル依頼）+きさら9名（小川手配））

次 第

17:00 開会（IT企画 桐原佳美）

17:01 主催者挨拶（建築士会会長 柴 和伸）

17:04 来賓挨拶

① 衆議院議員 田所 嘉徳 様 ◎

② 県議会議員 海野 透 様 ◎

③ 県議会議員 白田 信夫 様 ◎

④ 県議会議員 伊沢 勝徳 様 ◎

⑤ 県議会議員 西野 一 様 ◎

⑥ 県議会議員 木本信太郎 様 ◎

17:20 来賓紹介

⑦ 茨城県建設業協会 会長 石津 健光 様 ◎

⑧ 県土木部都市局建築指導課長 中島 三博 様 ◎

⑨ 県土木部営繕課長 小林 律之 様 ◎

⑩ 県土木部都市局住宅課長 和田 壽也 様 ◎

⑪ 水戸市長 代理 副市長 荒井 宰 様 ◎

⑫ 衆議院議員 梶山弘志様の秘書 神永 文男 様 ◎

17:25 祝電披露（なければ省略）

17:26 国土交通大臣表彰 相澤 晴夫 様（士会：副会長、協会：常務理事）

（贈呈者 ① 建築士会 柴会長 ② 事務所協会 河野会長）

17:30 乾杯 建設業協会長 石津健光 様

・・・〈歓談〉・・・

18:58 中締め 建築士会 賛助会代表幹事 若林純也 様

3F フロント

※ブース 16時集合

ブース①

ブース②

ブース③

ブース④

代理 12	代理 11	◎ 10	◎ 9	◎ 8	◎ 7
衆議院議員 梶山弘志 代理 神永文男	水戸市長 代理 副市長 荒井宰	県住宅課長 和田壽也	県営繕課長 小林 律之	県建築指導課長 中島三博	建設業協会長 石津健光

◎ 7	◎ 6	◎ 5	◎ 4	◎ 3	◎ 2	◎ 1
建設業協会長 石津健光	県会議員 木本信太郎	県会議員 西野 一	県会議員 伊沢 勝徳	県会議員 白田信夫	県会議員 海野 透	衆議院議員 田所 嘉徳

ステージ

司会

イス

イス

※ テーブル×16個 ⇒ コンパニオン = 16名

【2026.7.9 現在】

出入口

テーブル

テーブル

テーブル

名札

★ スタッフは、15時30分集合

受付

賛助会 正会員 来賓

令和8年度 合同大納涼会 収支決算書

日時…令和8年7月10日（金）

場所…ホテルテラスザガーデン水戸

« 収入の部 »

科目	内訳	金額
祝い金	1名	10,000円
会費	@6,000×180名	1,080,000円
	@4,000×11名	44,000円
合 計		1,134,000円

« 支出の部 »

支払先	内訳	金額
ホテルテラスザガーデン水戸	料理：7,000×140食	980,000円
	宴会室料	13,200円
	飲み物（注文分）	281,010円
	来賓手土産@2,420×16個	38,720円
	コンパニオン@13,200×7名	92,400円
	コンパニオン持込料@3,000×9名	27,000円
	コンパニオン駐車料金@600×6名	3,600円
ささき	コンパニオン9名	
桐原 佳美	司会料	25,000円
合 計		1,460,930円

« 収 支 »

収入合計	1,134,000円
支出合計	1,460,930円
収支差額	326,930円

大 納 涼 会 の 変 遷									収支の状況			備 考
単独・ 合同	回数	とき	曜日	ところ	参加数	うち、 賛助会	一般 会費	青年・ 女性	収入	支出	差額	
合同 第8回	第13回	H30.7.27	(金)	水戸市:テラスサガーデン	216	111	5千円	3千円	¥1,055,000	¥1,450,560	▲ 395,560	協会が、当番(折半 197,780)
合同 第9回	第14回	R1.7.26	(金)	水戸市:テラスサガーデン	215	115	5千円	3千円	¥1,027,000	¥1,409,520	▲ 382,520	士会が、当番(折半 191,260)
合同 第10回	第15回	R2.7.17	(金)	水戸市:テラスサガーデン	中止	—	5千円	3千円			0	協会が、当番
合同 第10回	第15回	R3.7.16	(金)	水戸市:テラスサガーデン	中止	—	5千円	3千円			0	協会が、当番
合同 第10回	第15回	R4.7.15	(金)	水戸市:テラスサガーデン	中止	—	5千円	3千円			0	協会が、当番
合同 第10回	第15回	R5.7.14	(金)	水戸市:テラスサガーデン	181	102	5千円	3千円	¥922,000	¥1,240,000	▲ 318,000	協会が、当番(折半 159,780)
合同 第11回	第16回	R6.7.12	(金)	水戸市:テラスサガーデン	179	90	6千円	4千円	¥1,086,000	¥1,278,440	▲ 192,440	士会が当番 (折半 96,220円)
合同 第12回	第17回	R7.7.11	(金)	水戸市:テラスサガーデン	181	100	6千円	4千円	¥1,118,000	¥1,267,150	▲ 180,170	協会が当番 (折半 90,085円)
合同 第13回	第18回	R8.7.10	(金)	水戸市:テラスサガーデン	191	111	6千円	4千円	¥1,134,000	¥1,460,930	▲ 326,930	士会が当番 (折半 163,465円) 例年より参加者が多かった (お寿司は結構、余っていた)
					' + 来賓12名		' + 新聞者					

大会概要

資料-7

テーマ

絹の国 建築つむぎ 未来へはばたけ

会場 / 高崎芸術劇場 (群馬県高崎市栄町9-1)
Gメッセ群馬 (群馬県高崎市岩押町12-24)

期日 / 令和8年10月16日(金)

主催 / 公益社団法人 日本建築士会連合会

共催 / 関東甲信越建築士会ブロック会
(茨城県、栃木県、埼玉県、千葉県、東京都、
神奈川県、山梨県、長野県、新潟県、群馬県)

主管 / 一般社団法人 群馬建築士会



高崎芸術劇場 大会式典会場



Gメッセ群馬 交流セッション・大交流会会場



群馬音楽センター



臨江閣



富岡製糸場 世界文化遺産



太田市美術館・図書館



田島弥平旧宅 世界文化遺産



四万湯泉 積善館本館



桐生新町重要伝統的建造物群保存地区



旧館林市庁舎



富弘美術館



高山社跡 世界文化遺産



南郷の曲屋



河鹿橋



伊香保温泉 石段



法師温泉



草津温泉 湯畑 (提供元:草津温泉観光協会)



磯部温泉

主なスケジュール

10月15日(木) 大会前日

プログラム	時間	場所
① 記者会見	13:30~14:30	エテルナ高崎 3階
② 連合会理事・士会長合同会議	15:00~17:00	エテルナ高崎 2階
③ 全国建築士フォーラム	14:00~17:00	Gメッセ群馬 2階 メインホールA
④ 全国ヘリテージマネージャーネットワーク協議会総会	15:30~17:30	グリーンドーム前橋 サブイベントエリア

10月16日(金) 大会当日

プログラム	時間	場所
⑤ 総合受付	9:00~16:00	高崎芸術劇場 2階 ホワイエ
⑥ 受付案内所	9:00~16:00	Gメッセ群馬 2階 ホワイエ
⑦ 企業出展	10:00~17:30	高崎芸術劇場 2階 ホワイエ
⑧ 物産展	10:00~17:30	高崎芸術劇場 1階 スタジオシアター
⑨ 記念展示	10:00~17:30	高崎芸術劇場 2階 ホワイエ
⑩ 休憩・食事エリア	9:00~14:30	Gメッセ群馬 1階 展示ホールA
⑪ 弁当配付	11:00~13:30	Gメッセ群馬 1階 展示ホールA
⑫ 青年委員会セッション	9:30~11:30	Gメッセ群馬 2階 メインホールA
⑬ 女性委員会セッション	9:30~11:30	Gメッセ群馬 2階 中会議室202B
⑭ まちづくりセッション①	9:30~11:30	Gメッセ群馬 2階 メインホールB
⑮ まちづくりセッション②	9:30~11:30	Gメッセ群馬 2階 メインホールC
⑯ 環境部会セッション	9:30~11:30	Gメッセ群馬 2階 中会議室201B
⑰ 群馬まちづくりセッション	9:30~11:30	群馬音楽センター 1階 ロビー
⑱ 群馬企画展示	10:00~17:30	高崎芸術劇場 2階 ホワイエ
⑲ 記念講演会	13:00~14:30	高崎芸術劇場 2階 大劇場、サブ会場4階音楽ホール
⑳ 大会式典	15:00~17:00	高崎芸術劇場 2階 大劇場、サブ会場4階音楽ホール
㉑ 大交流会	18:00~19:30	Gメッセ群馬 1階 展示ホールA

	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00
⑤ ⑥		総合受付・受付案内所												
⑦ ⑧ ⑨ ⑯		企業出展・物産展・記念展示・群馬企画展示												
⑩		休憩・食事エリア												
⑪		弁当配付(Gメッセ群馬)												
⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑰		各種交流セッション(青年、女性、まちづくり①、②、環境、群馬)												
⑲		記念講演会(高崎芸術劇場)												
⑳		大会式典(高崎芸術劇場)												
㉑		大交流会(Gメッセ群馬)												

10月17日(土)~18日(日) 地域交流見学会(エクスカーション)

プログラム(11コース)	時間	発着場所
Aコース (前橋コース) 赤城山の稜線が見守るまち"まえばし"	8:10~16:45	発着:高崎駅
Bコース (高崎コース①) レーモンドとタウトが残した高崎近代建築の軌跡	8:50~16:10	発着:前橋駅
Cコース (高崎コース②) レーモンドから磯崎新へ紡がれた高崎近代建築の流れ	8:35~17:35	高崎駅
Dコース (桐生コース) まちを織る建築、桐生重伝建を歩く	9:05~17:30	高崎駅
	8:35~	発:高崎駅
	~16:20	着:東武新桐生駅
	~17:20	着:高崎駅
Eコース (館林コース) 館林・里沼(日本遺産)×メタボリズム体感ツアー	7:50~	発:高崎駅
	~15:45	着:東武館林駅
	~16:45	着:熊谷駅
Fコース (伊香保コース) 石段の街・伊香保で感じるアートと歴史と三大うどん	8:20~17:00	高崎駅
Gコース (富岡コース) レトロな街並みが紡ぐ、新たな文化財活用のかたち	9:00~16:30	高崎駅
Hコース (安中コース) 電車で行く「鉄道遺産群」と温泉記号発祥の地「磯部温泉」	9:00~16:30	高崎駅
Iコース (藤岡コース) 絹の街から織田家の支配地をめぐる旅	9:20~16:30	高崎駅
Jコース (四万コース) 四万の病を癒す昭和レトロ保養温泉	8:35~翌16:00	高崎駅
Kコース (草津コース) 歴史を伝えるエリアをめぐり、草津温泉で癒される旅	8:50~翌16:45	高崎駅

参加・宿泊登録についてのご案内

(大会登録・大交流会・セッション、エクスカーション・昼食弁当・宿泊)

1. 参加登録(申し込み)方法

- 専用登録ページ(下記 URL または二次元コード)からのみ受け付けます。
- 1回の申し込みにつき、最大10名まで登録可能です。
- 電話・FAX・メール等での直接申し込みは一切受け付けておりません。



申し込みはこちら

2. 申し込み URL

<https://amarys-jtb.jp/kenchikushi2026/>

※申し込みは当サイトのみとなり、別途電話などによる申し込みは承りません。

3. 申し込み期間

2026年5月20日(水) 10:00 から 2026年7月20日(月) 17:00 まで

4. 申し込みの流れ

こちらからご覧ください。



申し込みの流れ

- ①新規登録
- ②申し込み
- ③支払い
- ④予約情報の確認

各連絡先(お問い合わせ先)

1. 大会スケジュール・関係行事に関するお問い合わせ先

一般社団法人 群馬建築士会

〒371-0846

群馬県前橋市元総社町2-5-3 群馬建設会館内

TEL: 027-252-2434 FAX: 027-252-2565

2. 大会参加申し込み(登録システム等)に関するお問い合わせ先

株式会社JTB群馬支店

担当: 松本・大塚・坂内

TEL: 027-310-3062 E-mail: gunma_010@jtb.com

営業時間: 9:30~17:30(土・日・祝日は休業)

全国大会申込状況 (7/29-12:00現在)

単位士会名	アク セス	大会 参加	大会 式典	記念 講演 会	大交 流会	1.青年委 員会 セッ	2.女性委 員会 セッ	3.まちづ くり セッ	4.まちづ くり セッ	5.環境部 会セッ ション	6.群馬ま ちづく りセッ	弁当 登利 平	弁当 上州 表豚	弁当 スワ ン
北海道建築士会	79	78	76	72	75	16	1	17	16	1	7	19	10	2
青森県建築士会	26	24	24	23	3	3	1	1	1	1	3	0	3	0
岩手県建築士会	38	38	38	30	26	3	4	4	5	1	2	2	12	2
宮城県建築士会	24	23	18	9	8	1	3	2	1	0	0	2	2	0
秋田県建築士会	65	64	57	49	28	18	0	14	3	0	0	4	10	1
山形県建築士会	66	65	63	27	2	2	6	6	3	1	0	19	0	1
福島県建築士会	65	65	65	56	3	1	0	4	5	1	0	3	23	0
茨城県建築士会	115	114	98	57	5	1	0	6	1	0	1	4	4	3
栃木県建築士会	94	92	87	57	1	1	2	8	5	1	1	5	1	0
群馬県建築士会	11	7	1	1	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0
埼玉県建築士会	99	97	82	79	7	9	1	10	8	1	5	8	14	1
千葉県建築士会	85	83	66	39	13	7	0	4	6	2	2	7	4	4
東京都建築士会	79	76	66	63	62	9	3	15	15	15	2	29	8	4
神奈川県建築士会	70	64	58	51	24	5	4	12	7	5	3	14	5	12
山梨県建築士会	43	43	43	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
長野県建築士会	78	76	73	67	4	46	1	4	0	1	0	2	2	1
新潟県建築士会	56	55	51	34	4	3	0	3	1	0	4	2	2	0
富山県建築士会	29	28	25	17	17	2	3	5	1	0	0	2	0	2
石川県建築士会	55	53	26	24	5	4	3	3	4	1	2	2	0	2
福井県建築士会	52	50	37	46	1	12	1	1	2	0	0	2	14	0
岐阜県建築士会	25	25	25	7	5	2	1	3	1	0	1	4	4	1
静岡県建築士会	55	53	48	32	4	26	0	7	0	0	1	10	6	3
愛知県建築士会	61	59	40	41	22	13	7	3	4	0	2	10	3	2
三重県建築士会	37	36	35	35	1	4	0	8	1	3	0	19	11	1
滋賀県建築士会	16	16	16	14	6	6	0	0	3	0	1	1	1	1
京都府建築士会	42	41	40	38	21	6	3	3	5	1	3	6	3	6
大阪府建築士会	55	53	52	48	31	5	5	5	4	4	3	7	3	10
兵庫県建築士会	57	48	34	32	14	6	1	4	6	2	2	13	5	7
奈良県建築士会	33	32	31	27	17	5	0	8	3	1	1	12	5	5
和歌山県建築士会	78	76	71	57	1	9	1	9	0	0	0	8	12	1
鳥取県建築士会	42	42	42	25	3	1	0	1	0	0	2	2	0	20
島根県建築士会	19	19	14	16	9	12	0	2	0	1	0	2	3	0
岡山県建築士会	24	24	22	16	12	3	1	2	3	2	0	4	7	1
広島県建築士会	24	23	23	22	14	0	2	6	5	0	2	9	3	1
山口県建築士会	39	37	29	29	3	6	0	6	1	0	0	4	1	4
徳島県建築士会	35	32	31	25	0	4	1	3	0	2	0	0	0	0
香川県建築士会	75	73	72	71	72	7	1	12	15	5	4	24	28	3
愛媛県建築士会	74	68	68	25	10	4	0	3	8	0	0	3	1	2
高知県建築士会	13	11	8	7	0	1	0	1	3	0	0	0	0	0
福岡県建築士会	20	20	20	19	7	2	0	2	1	1	0	6	0	0
佐賀県建築士会	26	24	23	15	6	1	0	0	2	0	3	3	1	0
長崎県建築士会	15	13	11	6	5	1	0	5	0	0	1	1	1	1
熊本県建築士会	20	20	19	6	5	1	1	4	2	0	0	4	0	1
大分県建築士会	37	33	32	27	20	0	0	7	5	0	0	2	8	1
宮崎県建築士会	27	27	27	24	0	4	0	8	3	0	1	6	3	2
鹿児島県建築士会	49	49	49	37	34	6	0	3	1	0	0	25	2	0
沖縄県建築士会	39	39	38	36	19	3	1	19	10	1	2	7	12	4
日本建築士連合会	26	26	21	21	26	2	0	1	0	0	0	8	0	4
所属なし	20	18	14	11	7	0	0	1	1	1	1	1	3	3
	2,312	2,232	2,009	1,585	667	283	58	255	171	55	62	327	240	119
定員数		3,000	2,439	2,439	1,000	300	67	300	300	90	60			300
関プロ計	730	707	625	463	125	81	11	62	43	25	18	71	40	25

+
200

2,500

+200 = 860 ~

早速ですが、全国大会(ぐんま大会)の申込み締切りが、8/20迄、延長となった旨の連絡がありました。ついては、以下の通りmail転送しますので、今から参加したいという方は、8/20迄に申込み下さい。以上。取り急ぎ、ご連絡まで。

(一社)茨城県建築士会 事務局長 助川 義浩

47都道府県建築士会 事務局長 様

平素より大変お世話になっております。連合会の小林でございます。

令和8年7月20日(月)申込締切だった「ぐんま大会」の参加申込が、

令和8年8月20日(木)まで延長となりました。

■ぐんま大会概要

↓ ↓ ↓ ↓ ↓

第68回 建築士会全国大会ぐんま大会 | 2026年10月 群馬県にて開催

■ぐんま大会参加申込

↓ ↓ ↓ ↓ ↓

第68回建築士会全国大会 ぐんま大会

お申込みに間に合わなかった方もご安心ください、まだお申込みいただけます！
皆様のご参加お待ちしております。

▼△▼ 公益社団法人 日本建築士会連合会 経理課 小林
▼△▼ 〒108-0014 東京都港区芝5-26-20 建築会館 5階
▼△▼ MAIL kobayashi@kenchikushikai.or.jp
▼△▼ TEL 03-3456-2061
▼△▼ FAX 03-3456-2067



IBARAKI_KENCHIKUSHIKAI

↑ 士会インスタ ↑



↑ 建築士会HP ↑

R8年度 建築士会の主な事業日程(月別)

……R8.7.30(木)現在

様々な事情により予告なく変更する場合有り



集え!! 未来を創る建築士!!

↑ 入会メリット ↑

建築士会に入って信頼と貢献の実績を!!

月	日時	曜日	参加予想数	事業名	会場
8	7	金	20	正副委員長会議	市町村会館 1階 講堂
	7	金	15	総務企画委員会	市町村会館 2F 中会議室
	8	土	52	県央支部：建築セミナー「芸術官と市民会館の狭間」	水戸市：テツ・アートプラザ
	20	木	40	理事会・支部長会	市町村会館
	22	土	26	第16回ボウリング大会	大学ボウル 水戸
	25	火	42	木造住宅耐震診断士養成講習会	土浦：生涯学習センター
	26	水	15	まちづくり委員会	青少年会館
	27	木	17	研修委員会	市町村会館 2F 中会議室
9	5	土	20	知事を励ます会	水戸プラザホテル
	13	日	240	二級建築士「製図試験」	水戸市内
	15	火	50	応急危険度判定士養成講習会	県庁9階講堂
	25	金	28	定期講習	研修センター
	26	土	20,000	建設フェスタ	笠松運動公園
10	11	日	200	一級・木造建築士「製図試験」	水戸市内
	16	金	3,000	第68回全国大会「ぐんま大会」	群馬県 高崎芸術劇場
11	3	火	70	第33回 日帰り見学会	関東圏
	17	火	15	総務企画委員会（8月予約）	市町村会館
	26	木	40	理事会・支部長会（8月予約）	市町村会館
12	3	木	100	二級・木造建築士試験「製図試験の合格発表」	普及センター、建築士会
	17～18	木～金	60	建築士免許 一斉受付（二級・木造）	建築会館
	23	水	50	一級建築士試験「製図試験の合格発表」	普及センター、建築士会
	4月～3月		10	監理技術者講習(オンライン講習のみ)	R8年～ オンデマンド 可
	5月～3月		10	既存住宅 状況調査 技術者講習(オンライン講習のみ)	R8年～ オンデマンド 可
1	14～15	木～金	30	建築士免許 一斉受付（一級/二級/木造）	建築会館
	22	金	270	第22回賀詞交歓会	ホテルレイクビュー水戸
	20～31	水～日	約950点検	建築パトロール事業 19支部20地区35市町村52班	県内
2	24	水	100	知事指定講習「建築士会 技術講習会」	研修センター
	26	金	40	PM ～ 支部事務局会議	ウエストヒルズ水戸
3	16	火	15	総務企画委員会（12月予約）	市町村会館 中会議室
	25	木	40	理事会・支部長会（12月予約）	市町村会館 1階 講堂

※ 状況により、中止・延期・縮小開催、Web、・リモートや想定外の変更もございます。

令和9年度(2027年度)

5	27・28	木・金	(予定)	建築士会 通常総会(5/27 or 28 半年前確認)	ホテルレイクビュー水戸
---	-------	-----	------	-----------------------------	-------------

2026年度 建築士 定期講習日程 及び 講習会場等について

主催：登録講習機関（公財）建築技術教育普及センター（担当団体：（一社）茨城県建築士会）

1. 受講申し込み方法、受付・担当団体案内

受講申し込みは、原則として主催の普及センターのホームページから インターネットによる申し込みになります。

普及センターHP ⇒ <https://www.jaeic.or.jp/koshu/teiki/off-flow.html>

※ インターネットによる申し込みが困難な方については、普及センターより紙申込書を送付いたします。

ご希望の方は、**普及センター**（TEL:050-3645-2717）へお問い合わせください。

- (1) 担当団体 茨城県建築士会
〒310-0852 茨城県水戸市笠原町978-30 建築会館2階
029-305-0329
- (2) 申込締切 各会場とも講習日の約20日前まで（定員となり次第締め切りますので、ご注意ください。）
- (3) 受講手数料 **12,980 円（テキスト代・消費税含む）**

2. 講習日及び講習会場案内、申込受付等

(1) 講習日及び講習会場、定員

会場コード	講習日	講習会場名	募集定員	締切り
2A-01	7月23日(木)	茨城県建設技術研修センター	80名	7月3日(金)
2A-02	9月25日(金)	茨城県建設技術研修センター	80名	9月4日(金)

(2) 講習会場案内

会場名：茨城県建設技術研修センター 3階 大ホール
住所：水戸市青柳町4193

※ 駐車場はございますが、駐車台数には限りがございます。お車の方はお早めにお越し下さい。

(3) 講習の時間割（時間割について、一部変更となる場合があります。）

項目	時間	内容
受付開始	9:00～	・講習会場への入場及びテキストの配布等
受講説明	9:25～ 9:30	・講習概要の説明、注意事項の説明
講義	9:30～11:35	・建築物の建築に関する法令①（1. 最近の建築関係法令の動き） （休憩 5分含む）
休憩	11:35～12:25	・・・・・・ 50分の昼食休憩・・・・・・
講義	12:25～13:25 13:35～15:40	・建築物の建築に関する法令②（2. 建築基準法 3. 建築士法） ・・・・・・ 10分の休憩・・・・・・ ・設計及び工事監理に関する科目（休憩 5分含む）
修了 審査	一級 建築士	・建築物の建築に関する法令に関する科目 ・設計及び工事監理に関する科目
	二級 建築士	・建築物の建築に関する法令に関する科目 ・建築物（法3条に規定する建築物を除く）の設計 及び工事監理に関する科目
	木造 建築士	・木造の建築物の建築に関する法令に関する科目 ・木造の建築物（法3条及び3条の2に規定する建築物を除く）の設計及び工事監理に関する科目
	15:50～16:00 （注意事項説明）	40問 正誤方式
	16:00～17:00 （修了審査）	35問 正誤方式
		30問 正誤方式

☆ HBの黒鉛筆かシャープペン、消しゴムを忘れずにご持参下さい。（修了審査で使用します）

☆ 受講票もお忘れなく。当日、受付にて受講票をご提示後に、講習テキストをお渡しします。

なお、修了審査において、講義で使用了講習テキストを参照が可能です。

お問い合わせ

（一社）茨城県建築士会

TEL：029-305-0329

（一財）建築技術教育普及センター

TEL：050-6261-3317（業務部）

建設業法第26条に基づく 監理技術者講習

建築士会
CPD認定
プログラム

国土交通省 登録講習機関 登録番号第12号(登録日平成27年6月22日) 公益社団法人 日本建築士会連合会 主催

オンデマンド講習のご案内

各月に1ヶ月間の受講期間を設定。お期間内にご自身のタイミングで受講可能。

・申込方法 WEB 申込みのみ 詳しくは日本建築士会連合会のHPをご確認ください。

開催期間	申込み期間	受講料
各月 1日～30日まで	申込み月の前月の17or18日まで (9月に申込みの場合、 8月18日(火)まで)	WEB 申込みのみ 9,500 円 (テキスト代・消費税込)

令和3年の法改正により令和3年10月1日受講の場合は ⇒ 令和8年12月31日までに受講すれば良いこととなりました!!

監理技術者講習とは

建設業法第26条第2項の規定により、元請負の特定建設業者が該当工事を施工

するために締結した下請負契約の請負金額総額が5,000万円以上(建築一式工事の場合は8,000万円以上)の工事には監理技術者を専任で配置することが義務付けられています。そして監理技術者として建設工事に携わる方は監理技術者講習を受講しなければなりません。日本建築士会連合会では、国土交通省から同講習の登録講習機関として登録を受け監理技術者講習を実施します。令和3年1月1日に改正施行した建設業法施行規則「監理技術者講習の有効期間の変更」にも対応しており、本会の監理技術者講習は法定講習であると同時に、建築士会CPD認定研修でもあります。

設計者の方々も建築施工の知識を得るために、この機会にぜひ、積極的な受講をお願いします。

設計者側として知っておくべき、施工者・建築工事従事者側で現場の学習をすることで実務に役立ちます。また杭問題などの時事問題や最新技術や材料を学べて、しかも、CPD単位が6単位つきます。

対象者 全ての分野の監理技術者または、建築施工の学習を目的とする方全て

建築士会の監理技術者講習の特色

特色1 建築工事に特化した講義内容と充実したテキスト

他の登録講習機関の同講習は建築、土木ほか一体の講義内容ですが、本会では「建築工事に特化した講義内容」と現役ゼネコン第一人者、学識経験者の執筆による実務に役立つテキストを使用します。

したがって特に「建築工事の分野で活躍されている監理技術者」にとりましては充実した講習となります。

★安心してください。土木系の監理技術者が受講された場合でも、監理技術者講習修了履歴ラベルが交付されます。

特色2 公共工事入札等での加点*となる建築士会CPD単位が取得できます！

本会の講習修了者はCPD単位6単位が取得できます。

2022年4月調べ、45道府県、47市、2町、内閣府、国土交通省、他団体の工事入札、入札参加資格審査等において建築士会のCPD実績証明書*が加点等に活用されています。

特色3 さらにWEBでもCPD単位が追加取得できます！

本会の講習修了者は上記のCPD6単位の他、受講者専用マイページにログインし、WEB上でCPD問題に解答・正答することでさらに建築士会のCPD単位が年間最大18単位取得できます。

*建築士会のCPD制度への参加が必要です。また、CPD実績に対する加点評価の扱いは行政機関により違いがあります。

お申し込み・お問い合わせ先

公益社団法人 日本建築士会連合会

〒105-0014 東京都港区芝 5-26-20 TEL:03-3456-2061E メール:kanri@kenchikushikai.or.jp



地域材利用のモデルとなる
木造住宅の支援をします

いばらきの木で家をたてよう

いばらぎ 木づかいチャレンジ (住宅用木材生産・流通体制の構築) 2026

●補助額：

1チーム20万円/戸
(1チームあたり20戸上限)

●募集期間：

令和8年8月31日まで必着

●補助要件：

裏面を参照して下さい。

茨城の木 の家に 誇りに。

内容
一新！

いばらき地域適合型住宅コンペ

～ IBARAKI WOODEN HOUSING AWARD 2026 ～

- 受賞プレート授与
- 作品集掲載
- 展示・メディア紹介

募集開始：8月3日(月)

締切：10月30日(金)

営業にも活きる“公的評価”を

募集概要

●応募対象

2022年1月1日から2026年3月31日に竣工した木造住宅
(新築、増改築、リフォーム可)

●応募資格

茨城県内に主たる事務所を有する設計事務所及び茨城県内に主たる事務所を有する工事施行者の組合せ
※同一事業者が「設計」と「施工」を兼ねる場合は1社で応募可

●応募費用無料

●応募方法

電子メール、郵送又は持参

募集部門 5つの応募部門 重複応募可



新築部門
新築木造住宅



リフォーム部門



若手チャレンジ部門
(40歳以下・独立10年以下)



コスト配慮型住宅部門
(坪単価80万円以下＋一定性能)



ビジュアル特化部門
写真1枚から応募可
※イベントでの一般選考を実施

詳細

エントリーはこちら



主催：茨城県木材協同組合連合会



改正建築士法が成立 人手不足緩和へ建築士試験の要件緩和

[経済](#)[フォローする](#)

2026年7月24日 21:15

[保存](#)

建築士の国家試験の要件緩和を盛り込んだ議員立法の改正建築士法が24日の参院本会議で可決、成立した。1級建築士の試験を在学中の学生が受けられるようにする。受験機会を増やして若手確保につなげ、人手不足の解消につなげる。

公布から3年以内に施行する。一定の単位を取得し最終学年で卒業見込みであれば、在学中に1級建築士試験を受験できるようになる。必要な知識が幅広く、安全や人命に直結するとして、いまは大学の建築学科や専門学校の関連学科などを卒業してから受ける必要がある。

中小規模の建物を設計する2級建築士を目指しているが建築学科などを卒業していない場合、受験と免許取得に7年の実務経験が必要だが、4年の経験で免許取得を可能にする。2年の経験があれば試験自体は受験可能にする。

国土交通省によると24年時点で38万人いる1級建築士のうち4割が60代以上だった。08年からおよそ4倍に増えた。30代以下は1割にとどまる。地方を中心に人手不足が深刻で、受験機会の拡大で若手の確保を急ぐ。

[アプリで開く](#)

すべての記事が読み放題

有料会員は月額4,277円

【初回1カ月無料】有料会員登録する

無料会員に登録する

ログインする

建築士法の一部を改正する法律案（概要）（案）

- ・ 建築士の高齢化等が進展しており、将来の建築士等を確保することが必要。
- ・ 契約の適正化による消費者と事業者の双方にとって利益をもたらす取引環境の整備を一層進めることが必要。

1. 将来の建築士等の確保

① 建築士試験の受験機会の拡大（在学中の受験の導入）

- ・ 建築士試験（一級、二級・木造）について、卒業を待たずに在学中における受験を可能とする。

※ 大学・高校等における一定の単位取得と最終学年で卒業見込みであることが条件。

注) 国土交通省において中央建築士審査会で建築士試験の内容など、そのあり方について検討を開始。

② 地域を支える二級・木造建築士の資格要件の緩和等

- ・ 現在、建築学科等を卒業していない場合は、受験と免許取得に実務経験 7 年が必要とされているところ、実務経験 2 年で受験できることとし、（受験前も含めた）実務経験 4 年で免許を取得できることとする。
- ・ あわせて、二級建築士から一級建築士を目指す場合の資格要件を柔軟化する。

※ 現在、二級建築士としての実務経験 4 年が必要とされているところ、二級建築士になる前の実務経験や学歴を組み合わせ、二級建築士としての実務経験を 2 年に短縮する。

③ 建築設備士の資格要件の合理化

- ・ 建築士の仕組みと同様に、建築設備士についても、実務経験は受験時には不要とし、登録時までに積み**よい**こととする。これに伴い、実務経験を建築設備士の登録要件とする制度（※）を創設する。

（※）一部省令事項

2. 契約の適正化

① 書面による契約締結の義務範囲の拡大

- ・ 現在、（平成26年の建築士法改正により）300㎡超の新築等の建築設計・工事監理契約が対象とされているところ、これを面積等を問わず、設計又は工事監理（いずれも建築士が行うものに限る。）の委託を受けることを内容とする全ての契約に拡大する。

② 見積書の交付等について努力義務の明記

- ・ 契約の透明化を図るため、建築士事務所の開設者に対して見積書の作成等について努力義務を課すとともに、委託代金の適正化を図るため、当事者が契約締結に当たって見積書の内容等を考慮するよう努めるものとする。



各都道府県建築士会
会長様

公益社団法人 日本建築士会連合会
会長 古谷 誠章

会誌「建築士」ハイブリッド化について（お知らせ）

本会事業の推進につきましては平素より格別のご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。
これまで総会やブロック会長会議等の様々な場でお伝えしていますように、本会が発行しております会誌「建築士」につきましては、近年の情報発信環境の変化やデジタル化の進展等を踏まえ、2027 年 1 月より紙媒体と WEB 配信を組み合わせた「ハイブリッド型」の情報発信へ移行する方針について、本会の第 74 回定例理事会（2026 年 1 月 15 日）において承認済となっています。

理事会の承認を受けて現在、本会の情報・広報委員会並びに編集部会およびデジタル情報部会において、2027 年 1 月からの運用開始に向け、具体的な検討・整理を進めているところです。

つきましては、現時点における主な整理状況について下記のとおりお知らせいたします。各都道府県建築士会様におかれましては整理状況をご確認いただくとともに、会誌「建築士」の情報発信の移行等に係る所属建築士会会員への周知等の運用体制につきましてご準備いただきますようお願い申し上げます。

併せて、各都道府県建築士会様が所属建築士会会員向けに発行されている会誌等につきましても 2027 年 1 月以降は会誌「建築士」の発行時期と一致させる等のご対応についてご検討をお願いいたします。

記

1. ハイブリッド化後の発行・配信について（予定）

（1）会誌「建築士」（会員限定）（奇数月発行）

従来の紙媒体による会誌を、隔月（奇数月）発行する予定としております。
建築士会活動および建築技術・建築文化に関する情報を記録・蓄積する媒体として位置づけ、CPD 単位についても年間取得単位数が従来と大きく変わらないよう（基本的には一冊当たり従来の 2 倍の単位取得が可能となる内容を掲載予定）整理を進めております。

（2）会誌デジタルツイン版（会員限定）（奇数月発行）

紙媒体の会誌「建築士」（上記（1））をデジタルブック化し、会員限定のアーカイブとして公開する予定です。紙媒体と同様に、隔月（奇数月）での公開を予定しております。

※閲覧に必要な ID・パスワードを紙媒体の会誌「建築士」（上記（1））に掲載し、会員

がアーカイブを閲覧できる仕組みとする予定です。

(3) デジタル版（一般公開）（偶数月発行）

建築士会活動報告、受賞者発表、各種事業案内等を中心としたデジタルブック形式によるWEB配信を、隔月（偶数月）で実施する方向で検討しています。

※当面はデジタルブック形式による運用を予定しておりますが、将来的にはWEB版（ホームページ上に内容を掲載する形）への移行についても検討を進めています。

(4) 連合会からのお知らせ（一般公開）（毎月発行）

ニュースや連合会からのお知らせ、各建築士会からのお知らせなど、即時性を重視した情報については、PDF等を活用し、WEB上で毎月情報発信を行うことを検討しております。

2. 巻号について

巻号については、紙媒体およびデジタル媒体を通じて、通し番号を継続して使用する方向で整理を進めています。

※通し番号は継続して使用しますが、雑誌としての逐次刊行物を識別するための番号であるISSNについてはデジタル版として別途取得予定です。

<参考>発行・配信イメージ（予定）

			ハイブリッド化に移行						
			2026年	2027年					
	公開範囲	発行頻度	12月 No.800 (通し番号)	1月 No.801 (通し番号)	2月 No.802 (通し番号)	3月 No.803 (通し番号)	4月 No.804 (通し番号)	5月 No.805 (通し番号)	...
① 紙の会誌	会員のみ	隔月 (奇数月)	発行	発行	-	発行	-	発行	...
② デジタルツイン版 (紙の会誌をデジタル化)	会員のみ	隔月 (奇数月)	-	会員限定公開	→	会員限定公開	→	会員限定公開	...
③ デジタル版 (WEB配信)	一般公開	隔月 (偶数月)	-	-	配信	-	配信	-	...
④ 連合会からの お知らせ (WEB配信)	一般公開	毎月		WEB配信	WEB配信	WEB配信	WEB配信	WEB配信	...

3. 今後について

ハイブリッド化に関する周知につきましては、建築士会様宛文書、会誌誌面、全国大会等を活用し、順次進めていく予定です。

また、今回の発行・配信方法の変更に加え、中長期的には、情報発信環境の変化に対応した新たな情報発信のあり方や仕組みづくりについても検討を進めています。

今後、検討状況については、改めてご案内申し上げますので、ご理解・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

ご不明点等がございましたら、下記担当までご連絡いただきますよう、お願い申し上げます。

以上

【問合せ先】

(公社) 日本建築士会連合会 情報・国際部 林

Tel : 03-3456-2061 Mail : kaishi@kenchikushikai.or.jp